

地方史情報 131

2016年12月

山・鉾・屋台行事—祭りを飾る民俗造形— 福原 敏男

本書の目的は、祭礼における曳き山や昇き山、傘鉾や京都祇園祭の鉾、さらに屋台や山車などが巡行する行事について再考することにある。都市部ではこれらが神輿渡御の前後を巡行し、祭りを造形的・色彩的に飾り、音曲で囃し、さらには夜間には光輝いて、彩ってきたのである。

この分野の研究は、具体的な造形論研究と信仰の側面からの意味論研究の両輪が機能してこそ成り立つといえよう。従来、民具・美術工芸・建築などの面からの物質文化的な研究が遅れているわけではないものの、特に民俗研究において以下のような意味論が継承されているため、現在では意味論が先行していると言わざるを得ない。ゆえに、本書では山・鉾・屋台の諸相を「祭りを飾る民俗造形」とした所以であり、造形論を強調する立場を取る。

これらの諸造形の意味論的研究は、約百年前の折口信夫「髯籠の話」など、のち同氏『古代研究』に収録された一連の依代論が嚆矢とされる。神社本殿の不可視の主祭神は神輿で渡御するのに対し、折口は、祭りに去来する神が山・鉾・屋台類を「依代」として降臨するという古層について考察したのである。「依代の発見」は、神霊がよりつく座（モノやヒト）を可視化し、依代自体を神霊（神の宿り）とする新たな意味の付与であった。折口の造語「依代」はその後、民俗学の祭り・年中行事や民間信仰の研究において広範に受容され、現在に至るまで人文諸科学のみならず、日本研究に多大な影響を与え続けている。「依代」は専門辞典を始め、多くの国語辞典に採用されて現代語として定着しているが、その受容や影響には問題がないわけではない。（中略）

本書の山・鉾・屋台に焦点を絞ると、植木氏は、特に戦後の研究者が山・鉾・屋台類について、明治以降の東京発信語「山車」と一括し、「その実態を問うことなく、折口信夫の依代論に拠りかかった意味論に終始し、思考停止」状態が続いているという。それは、多様な造形や名称の山・鉾・屋台行事に「生起した一回性の造形物を全て「山車」とし依代論で始末する「自動解説装置」と化してしまっただけ」ともいえよう。（中略）

上記のように、山・鉾・屋台行事研究においては折口依代論以降、特に戦後、国家神道のくびきから解放されたにもかかわらず、「神降臨という自動解説装置」が付いて久しいが、本書では装置を外して再考することを目指した。

（植木行宣・福原敏男『山・鉾・屋台行事』2016.9、小社刊、「はしがき」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220
hokkaido-bunkazai.jp
◇355 2016.5 B4 8p
装い遺して「北菓桜 札幌本館」
旧北海道庁立図書館
文化遺産を活かした地域活性化
道文化遺産活用活性化計画
新設 北見市立中央図書館 斎藤茂
吉文学展 舟山 廣治
札幌・豊平館、大規模改修終る
明治の薫り再び、6月20日開館
田村 拓己
140周年記念 展示内容一新 4月
21日オープン！ サッポロビール博物館
函館の豊原4遺跡出土品、重文指
定に 縄文颯希の葬送儀礼資料
「流転・依田勉三と晩成社の人々」
を書いて 吉田 政勝
屯田兵文書 絵巻など3件 道有形
文化財に指定
公開座談会参加学生の声
世界遺産登録で活性化 小林航／斎藤俊介
◇356 2016.7 A4 8p
350年の歴史 伝統芸能 松前神楽
松前神楽北海道連合保存会合同
公演 前田 正憲
平成28年度北海道文化財保護協会
通常総会 みる（道内文化財め

ぐり、道外文化財めぐり）／まな
ぶ（子ども愛護活動推進事業、
文化財講演会、絵手紙教室）／た
たえる（文化財保護功労者表彰）
和食の脇役現代漬物考 舟山 廣治
榎本武揚へのまなざし
花活けは砲弾 武藤三代平
札幌村開祖 大友亀太郎着任150年
記念行事 山田 大隆
斜里ねぶた 服部 圭吾
伊達家「巨理伊達本」 洛中洛外
図屏風 4年ぶり公開された 伊達 元成
開道百五十年へ向けて 農村部混
乱に見る本庄作品の源流 山田 雅也
“江戸のエゾ像”～「夷酋列像」が
織りなすイメージ～ 文化財講
演会 遠藤 龍畝

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/
◇83 2016.7 A4 6p
碑に思う 橋本とおる
歴史余話「坂の上の雲では分かれ
ない旅順攻防戦」乃木司令部は
無能ではなかった」別宮暖朗著 （田中）
「歴史の改竄」 田中 貢

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 1991年創刊

hoppohm.org

◇101 2016.6 A4 4p
ロビー展 音を奏でる狩猟具 橋
谷隆男のシカ笛コレクション 山田 祥子
講演会 シカ笛づくり／講座 世
界のシカ笛 狩猟と音楽の源流
を求めて 講師：橋谷隆男氏 山田 祥子
館長講座 遺跡は何故できるのか
講師：岡田淳子 笹倉いる美
講座 「国際博物館の日」記念事
業 東日本大震災と文化財レス
キュー 講師：日高真吾氏 中田 篤
第31回特別展 北からの文化の波
ー北海道の旧石器からオホーツ
ク文化まで

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊
◇267 2016.6 A4 8p
遺物が語る郷土の歴史 「柳之御
所遺跡 内耳鉄鍋」（重要文化
財） 鎌田 勉
岩手文化財愛護協会 会長就任に
あたって 一戸 秀光
国有形文化財「上和野馬頭観世音」
について 岩持河奈子
「昭和の香り」が立ち込める映画
館 中村 明央
奥州市大安寺水沢伊達家 六代室
墓から出土した女乗物 関根 達人
生誕一六〇年、再評価される原敬
鈴木 恒夫
古文書の解読 細井 計
被災地の発掘調査現場から（6）
浜川目沢田Ⅰ遺跡 須原 拓

◆東北民俗 東北民俗の会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
学大学院文学研究科 宗教学研究室
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊
tohokuminzoku.com
◇50 2016.6 A5 172p 1000円
第50輯記念特集 私と東北民俗
私と東北民俗
柳田國男 最後の旅 仙台 岡田 照子
私と東北民俗 岩本 由輝
思い出す人々 芳賀 清一
最初の研究発表『東北民俗』 佐々木長生
大崎耕土の餅食文化 車田 敦
大崎低湿地の災害伝承 川島 秀一
仙台大観音一胎内空間と順礼 小田島建己
仙台市内のニュータウン等におけ
る「コミュニティどんと祭」の
会場配置ーいわゆる「焼却場」
に注目して 高橋 嘉代
巨理明和女学院の裁縫教育 鈴木由利子
ムラの子供の集団とその行事ー宮
城県名取市植松の植松北天神講
をめぐる記録と記憶 相澤 出
気仙沼大島における漂着神の信仰
小野寺佑紀
田植え歌の中の猿と鹿 野沢 謙治
福島県中通りの狼信仰 石黒伸一朗
金津流鹿踊の系譜（2）
ー石関係の鹿踊について 及川 宏幸
八戸地方における山伏神楽の春祈
禱ー白銀四頭権現神楽を例に 小林 力
雪の和菓子 稲 雄次
民間宗教者の知識と実践
ーカミサマ系巫者とその周縁 葛西栄美子
巫者による「神社」創設とその実
態に関してー宮城県石巻市の事
例から 鈴木 琳子
牛の角突きと山古志の人々のくら

しー新潟県中越地震以降の新たなつながり作り 前田 諒
『東北民俗』第1輯～第50輯目録
『東北民俗』の掲載論文に見る研究動向

◆秋田近代史研究会会報

〒010-0063秋田市牛島西2-1-12
アーバンティ三浦203 柴田知彰方
TEL018-837-2303 1958年創刊
◇171 2016.5 A4 5p
2015秋季研究会研究報告要旨
帝国在郷軍人会秋田支部の設立から解散までー平鹿郡内分
会活動の実態を探る 高木 明博
今、なぜ石橋湛山なのかー「言論人の系譜」を通して 川越 良明

◆秋田地名研究年報 秋田地名研究会

〒019-2112秋田県大仙市刈和野愛宕下167
新谷正隆方 TEL0187-75-2717
年2500円 1985年創刊
◇30 2016.5 A4 12p
横手平野の古代開発と地名ー「払田柵跡」周辺の古代史を探る 木村 清幸

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1973年創刊
◇42 2016.7 A5 52p 1389円
表紙写真 秋田市金足浦山地区の竹細工作り 浅利絵里子
鹿島信仰の考察
ー秋田県の鹿島祭りから 鎌田 幸男
耳取権現とその類話ー翻刻 武藤
鉄城「獅子の咬み合ひや鉤坑の遺滅」 星野 岳義
小玉暁村の民俗の仕事 小田島清朗

ミサキ神としての狐飛脚 石郷岡千鶴子

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊
◇114 2016.6 B5 4p
吉川五明の連句集「小菜畑」の中の民俗語彙 新谷 正隆
秋田県の「動植物供養の民俗」
ー第59回研究例会 小田島清朗
與次郎狐の話 石郷岡千鶴子

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇61 2016.7 B5 24p
特集 秋田歴研協第22回大会
新会長挨拶
会長就任にあたって 半田 和彦
記念講演 佛教史に見る「みちのく」と北海道 佐々木 馨
用語解説 旅に関わる用語(下) 半田 和彦
歴史情報 首都圏秋田歴史と文化
の会第17回記念大会開催、第1次修了 神宮 滋

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇86 2016.5 B5 53p
湯浴みする人々
ー真澄が歩いた温泉の光景 菊池 勇夫
長野県諏訪地方における真澄の足跡探訪ー『すわのうみ』『粉本稿』

『伊那の中路』を読み解く 菊地 利雄
菅江真澄の旅を歩く 木本 桂春
藤社・水尺神社の棟札など 佐藤 隆造
真澄の一枚(18) 権五郎景政の駄路鈴 『粉本稿』より(大館市立中央図書館提供) 菊地 利雄

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇72 2016.6 A5 172p 2000円
わらべうたの発生と展開(3)
三、雛送りー人形呪術(2) 本城屋 勝
ささらの佐竹由来伝承を考える 小田嶋晴朗
『後三年合戦絵詞』謎解きの試み
ー主に錯簡との関連において 加藤愼一郎
秋田に遺る新庄藩外形村七所明神
宛て寄進状ー大仙市神宮寺八幡神社旧別当家所蔵 神宮 滋
秋田県内における奥州藤原氏残党の痕跡 石山 憲二
鯨(このしろ)が負った死の秘密ー古名ツナシと頭屋と親の愛情 松橋 由雄
岩手県八幡平市の山伏神楽ー岩手県山伏神楽と湯沢神楽を中心に 星野 岳義
図書館指定管理者制度 稲 雄次
百家風発
刷り出された僧形八幡と祓文 神宮 滋
史料編 我が村の歴史 第五号
深澤多市著 翻刻 森本 彌吉

◆さあべい さあべい同人会

〒999-3701山形県東根市本丸北1-5-11
保角里志方 TEL0237-42-3158 1970年創刊
◇31 2016.5 B5 124p
延沢城本丸跡の建物跡ー本丸跡A

地点の礎石をもつ建物跡と掘立柱建物跡 大類 誠
山形の古墳とその時代(2)
ー後半期の古墳の様相 川崎 利夫
鷹巣館(山形県大石田町)の再検討 松岡 進
山辺町北山の楯の峰館跡について 三浦 浩人
東村山郡中山町の中世石造美術ー柳沢字楯堂(戸)墓戸から出土の遺品について 加藤 和徳
深山焼蟹沢窯跡にみる置賜近世窯業の転換 高橋 拓
飯豊町天養寺観音堂に祀られる石仏群の調査と考察 楠 千栄美
市町村文化財保護体制への提起
山形県における文化財保護体制の課題についてー未来への課題
へ対応してゆくために 須藤 英之

◆聴雪 新庄古文書の会

〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊
◇20 2016.6 B5 133p
《会誌20号 記念特集号》
『聴雪』二〇号(記念特集号)
発行にあたって 伊藤 善一
『聴雪』二〇号発行に寄せて 大友 義助
特集1 私と古文書
先祖との古文書での出会い 早坂 武昌
私のご先祖と古文書 高橋 正則
古文書の会に入って感じたこと 箱山 伶
名高村開発覚書余話 荒川 輝夫
真室川(大滝山)の槻、東本願寺
御献土木の疑問にせまる 梁瀬 平吉
古文書回廊で世界広がる 伊豆倉公子
消え去るのか、ゆかしい言葉 新國 吉朗

入会して歴史の大切さに気づいたこと―帰らぬ父への思い 佐藤 周一
古文書との出会い 矢口 實
古文書雑感 武田 清夫
日暮れ、道連れ 伊藤 勉
特集2 二〇年の歩み
会誌二〇年の『年輪』 大場 英一
付1 ニッセイ財団より顕彰される／付2 『地方史情報』に紹介される
会誌『聴雪』（創刊～20号）
掲載資料一覧 土屋道郎／大泉友子
〈平成27年度の学習〉
「私の古文書漫步」（6）
『古老覚書』―富士山噴火の記録 大友 義助
『古老覚書』―江戸時代の贈り物 大友 義助
入門講座の学習（講師 大友義助先生）
荒川家文書「神君お秀忠公御臺所江之御書」（2）（解説 小関清純・伊豆倉公子）
解 説 伊藤 勉
印字 解説文・解説文 伊藤 勉
新田家文書「新田兵右衛門 覚書」（仮）（解説 高橋正則・梁瀬平吉・佐藤周一・大津純一・早坂武昌・神崎清次・大山昭徳・小嶋智恵・成澤清久・荒川輝夫・武田晴美・杉原實・武田清夫・矢口三直・沼沢美恵子・大友寿美代・福土ちのり・箱山伶）
解 説 土屋 道郎
印字 解説文・解説文 土屋 道郎
中級講座の学習（講師 大友義助先生）

古瀬本「古老覚書 四」（2）（解説 梁瀬平吉・佐藤寿也・成澤清久・矢口實・大場英一・大山昭徳・武田清夫・伊藤善一・新國吉朗・大泉友子）
解 説 大友 義助
印字 解説文・解説文 新國 吉朗
救荒食の製法 大友 義助
漢字の伝来と変遷 大泉 友子
「ふるさと古学」研修記
―近代山形の黎明を訪う 新國 吉朗
一粒一滴
言葉の謂れ 菓子 大友 義助
新庄の地名 五日市・十日町 大友 義助
新庄の地名 鼻こくり 大友 義助
◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇213 2016.6 B5 10p
米沢藩郷村出役日記を読む（4） 須崎 寛二
借金の返済を村肝煎が保証 須崎 寛二
第235回学習会から 第9章第四節
養蚕と製糸（上） 江戸時代の養蚕、第五節 果物と特用作物期
◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年5000円 1999年創刊
blog.tuad.ac.jp/tobunken/
◇59 2016.5 B5 30p
対談 「東北」という地で描き、学ぶこと 実践東北学と「東北画は可能か？」の地平 三瀬夏之介／田口洋美
東北画は可能か？―地方之国構想

博物館― 報告 石原 葉
絵はがきピッチピチ小話（4）
声の出る絵葉書 井筒 桃子
フィールドの風
海と生きたまちへ 文・写真 佐藤未希
フィールドワークの現場から
「石巻市住吉勝又家資料」の保
全活動 皆川 千尋
楮ふかしを見学して（山形県西置賜郡白鷹町深山） 平井 礼人
◆村山民俗 村山民俗学会
〒990-0051山形市銅町1-2-33
安孫子博幸方 年3000円 1988年創刊
www.geocities.jp/murayamaminzoku/
◇30 2016.6 B5 132p
《創立30周年記念号》
創立30周年に寄せて
創立30周年 村山民俗学会の活動記録 野口 一雄
「会誌」・「会報」発行までの回想
会報をつくり続けて 市村 幸夫
中世の砂糖贈答に関する二、三の史料 三上 喜孝
シシ踊りにおける「メジシ隠し」―その歌詞・演出・呼称から 盛永 未来
奥村栄助・聞き書きノート 齊藤やよい
火事と赤い腰巻 鹿間 廣治
山形に残る「奪衣婆像」 廣谷 知行
下宝沢賀茂別雷神社と雨乞い 富塚 修男
蚕神などについて 伊藤 登啓
鮭の大助譚に散見される蝦夷とアイヌ 村田 弘
高櫛夜行念佛再興と百年のあゆみ 村山 正市
平清水家のヒイラギ 清野 春樹
大江町における国重要文化的景観

選定の意義 岩鼻 通明
国史見在酢川温泉神社の創立と蔵
王連峰熊野岳の信仰―出羽国山形宝幢寺文書の文責を中心として 関口 健
アンティーク絵葉書からの考察―
文翔館竣工百年と山形鉄道開通
百五十年 安孫子博幸
若狭の勧請板について
―2016年4月の調査から 三上 喜孝
民俗行事「はねこんま」探訪記 菊地 和博
◆ふぉーむ・F 福島県民俗学会
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内（担当：内山大介・大里正樹 TEL0242-28-6000） 2011年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com
◇3 2016.7 A4 4p
平成27年度東北地方民俗学合同研究会「動植物供養の民俗」 内山 大介
第29回越後と会津を語る会 小澤 弘道
弘道「会津地方の民家と越後大工の活躍―間瀬大工を中心として―」 小澤 弘道
展示見学記
会津美里町新鶴民俗資料館
“食”の調査から 小澤 弘道
◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history-archives.fks.ed.jp
◇45 2016.6 A4 4p
「日本遺産」安積疏水に関する県庁文書について 通水式の挙行
に関する農商務省からの達 山田 英明
江戸時代の観月台ため池絵図 小野孝太郎
土湯を訪れた性信上人 渡邊 智裕

檜枝岐村で捕獲された「白熊」 渡邊 智裕
幕末期の梵鐘の供出 小野孝太郎
東宮殿下に献上された考古資料 安田 稔

関 東

◆茨城史林

茨城地方史研究会（発売：筑波書林）
〒310-0053茨城県水戸市末広町1-5-39
久信田喜一方 年3000円 1972年創刊

◇40 2016.6 A5 154p 1111円

『茨城史林』40号に寄せて 久信田喜一
常陸南朝関氏について 坂入 正夫
水戸家の饗応 河野 弘

初期検地と村落構造—常陸国筑波
郡山口村を中心に 齊藤 茂
文政期の常陸俳壇—守谷薬師堂奉

納俳額を通じて 二村 博
芹澤鴨と芹澤家研究について
一付・補遺 あさくらゆう

地方史公開セミナー報告紹介
中世史料点検・評価の作法—下
妻光明寺本「親鸞門侶交名」

の価値 糸賀 茂男
日本美術院の五浦移転と茨城県
清水恵美子

史料紹介 石河明善書写の弘道館
師範の諸生派願入寺集会擁護の
願書—水戸市・長山家文書から

久信田喜一
新刊紹介

佐藤環著『茨城県女学校のあゆ
み 茨城県における女子中等
学校の歴史的変遷』 栃木 敏男

大藤修著『二宮尊徳』 並木 克央
鉾田市田山家文書・結城水野家中
酒井家文書・水戸市長山家文書

・武石浩玻関係資料の調査 久信田喜一

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 〒029-243-6910 1974年創刊

◇84 2016.6 A5 100p

橘孝三郎と後藤罔彦・信彦兄弟

一愛郷会創設の意義 仲田 昭一
藤田幽谷と『孝経』 梶山 孝夫
豊田英雄の住まいを辿って 齋藤 郁子

代笠亭記 余聞 宮田 正彦
義公の足跡を訪ねて(30) 住谷 光一
地方の試み 梶山 孝夫

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会

〒304-0056茨城県下妻市長塚乙77
〒0296-43-3418 1976年創刊

◇41 2016.5 A5 144p

母校の歴史を訪ねて(七)—古写真

にみえる母校の面影その三 中島 成行
富士から筑波へ—日蓮最後の旅 坂越 節
鎌倉時代における多賀谷氏の領地

について 佐久間秀樹
古墳「石舞台」—飛鳥 植木 正明
研修視察記「世界遺産、富岡製糸

場とコンニャクパーク」 小島 常正

◆史 談 安蘇史談会

〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方 〒0283-24-3232 年2000円
1985年創刊

◇32 2016.5 A4 227p

今、できること 京谷 博次
越名・馬門河岸周辺の風景 京谷 博次
江戸期前期における安蘇郡赤坂村

の御鷹部屋一本光寺文書等から
考察する 海老原脩治
故郷の絵師

木村尚仙のこと(1) 廣木 雅子
星宮紀行(2)

富岡村・セツ塚のことなど 川田 春樹
田中正造の人民観(2) 関根 徳男
佐野鉄道堀米停車場設置異聞 京谷 博次

須永元を通して出会った人たち 大川 圭吾
史料紹介 対馬達雄著『学校統合
紛争の研究—栃木県田沼町の事

例—』 正田 忠男
昭和30年夏の佐野—若き司馬さん、
福田定一陸軍少尉は、本土防衛

のため、栃木県佐野市に駐屯し
た。 村井 重俊
岩船山と絵巻『岩船山地蔵菩薩縁

起』とは 永島 正夫
佐野市豊代城跡の重要性 大澤 伸啓
史料紹介 高瀬家文書所収の佐野

昌綱文書について 鴨志田智啓
真田家のはじまり 大竹 誠
みなかみ町月夜野を訪ねて 篠崎 澄子

藤原秀郷ゆかりの神社・仏閣 大森千哥子
鋳物のふる里と砂鉄のふる里 清水 喜三
安蘇の石灰と化石 奥村よほ子

“初詣”佐野坂東三十三観音巡礼
(1) 松中 清子
唐沢義勇少年団から唐沢子供会へ

(前) 日本ボーイスカウト運動
の父佐野常羽と安蘇の少年達 大高八三郎

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 〒028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇100 2016.7 A4 4p
《特集 歴史の見方を転換する》
『歴文だより』第一〇〇号発刊を

記念して 荒川 善夫
歴史の見方を転換する
一読み直される時代像 平野 哲也

新刊紹介

松本一夫著『尾山氏の盛衰 下
野名門武士団の一族史』 佐久間弘行
新井敦史著『下野おくのほそ道』

小林 聖夫

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 〒027-221-2346
1993年創刊

◇46 2016.5 A4変 36p

《桐生市旧黒保根村・みどり市旧東村地域
特集》

歴史を掘る 医光寺南遺跡採集の
ナイフ形石器 新井 雅幸
渡良瀬の岸辺にて 池上 悟

第23回石川薫記念地域文化賞
功労賞 小林二三雄／奨励賞
境史談会

黒保根地区における遺跡分布につ
いて 新井 雅幸
図録 ぐんまの文化財 「道」と

「交通」がつくりだした文化財 萩原 清史
ぐんまの歴史入門講座
第170講

岩沢正作と黒川峡の遺跡 新井 雅幸
第171講 桐生佐野氏の滅亡と子
孫たち 須藤 聡

第172講 水沼村名主星野家の通
信環境 巻島 隆
第173講

新井領一郎と生糸直輸出 宮崎 俊弥
第174講 旧黒保根・旧東村の石
造文化財 石造文化財の見方

(35) 秋池 武
古文書解読入門講座(33)—古文書
から歴史を読む 文政四年、水

沼村大火一件から見えてくるも
の 小野里了一

地域づくりと文化遺産 住民や行政による個性的な活動から見た東・黒保根地区 萩原 清史
ぐんまのくらしと民俗 地域で伝えるくらしのこころ—小夜戸のまゆ玉正月 亀井 好恵
ぐんまの川と生活 渡良瀬河谷と山地の川 澤口 宏
ぐんまの人物誌 在郷町桐生新町で輝いた女性—寺子屋師匠・田村梶子 大里 仁一
ぐんまの郷土芸能 生念仏 平塚 貞作
ぐんまの地名 旧黒保根村の地名(現桐生市黒保根町) 川池 三男
研究・学習サークル活動紹介 生涯学習桐生市民の会 大里 仁一
地域の刊行物紹介 大瀬 祐太
ぐんまの自然と風土 東毛北部の自然 佐鳥 英雄

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
◇326 2016.7 A5 76p
《特集 地域史研究の最前線 PartⅣ—群馬の地理—》
趣旨説明 「地図を活用した地理的視点からの地域調査」開催にあたって 大島登志彦
基調講演 女堀の地理的再検討 澤口 宏
研究発表 群馬県における路線バスの盛衰と諸問題 石関 正典
地域研究へのオープンデータの活用 田中 隆志
研究大会報告 平成27年度研究大会の報告 町田 悟

総会・地域研究会報告 平成28年度群馬県地域文化研究協議会総会並びに第32回地域研究会(於藤岡市)の開催 竹内励/秋山寛行
ぐんま絹遺産紹介 第2回 高山社跡(世界遺産・史跡) 井上 勉
荒船風穴(世界遺産・国史跡) 市川 瑠美
新刊紹介 時枝務著『山岳宗教遺跡の研究』 関口 功一
久保田順一著『新田三兄弟と南朝—義顕・義興・義宗の戦い—』 諸田 義行
巻島隆著『桐生新町の時代—近世在郷町の織物と社会—』 岡田 昭二
口絵 名譽金牌授與状(高山社養蠶方案並統計表)—群馬県立歴史博物館蔵品資料(127) 佐藤 有

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
◇244 2016.5 A5 56p
厩橋十二景—前橋藩主酒井忠孝の選んだ名勝 井野 修二
山崎一『群馬県城館址調査の手引き』(14) 茂木渉・翻刻/飯森康広・割付
高山彦九郎日記による歴史散歩(52) 『北行日記』(11) 正田 喜久
れきさんサロン 新刊紹介 『高平宿』〈宿シリーズ〉(1)「高平」を探索 利根沼田支部/『ふるさと渋川史帖』大島史郎著 山崎 正
牧久氏の前橋来訪と新著『満蒙開拓、夢はるかなり』 東宮 春生
徳川郷が勢多郡から新田郡に替わった 井野 修二

歴史散歩の報告(事務局企画) 渡来人と高麗郷(現日高市)—高麗郡建設郡1300年 (山崎)
◇245 2016.7 A5 56p
会長就任のあいさつ 山本 隆志
副会長就任のあいさつ 本田 博己
埼玉県令白根多助のこと(上) 井野 修二
山崎一『群馬県城館址調査の手引き』(15) 茂木渉・翻刻/飯森康広・割付
高山彦九郎日記による歴史散歩(53) 『北行日記』(12) 正田 喜久
望丘の街・真田の里ぬまた 一ふるさとの地旅 宮崎 嘉久
歴史拾い読み 第一回 吉田松陰『留魂録』/『東北評論』を知っていますか? 石山 幸弘
歴史散歩の報告(事務局企画) 中山道の宿場 鴻巣—小松姫・伊奈備前守の眠る勝願寺 山崎 正
竹島と三河湾三島をめぐる 一篠島・佐久島・日間賀島 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4 板橋春夫方 1979年創刊
◇146 2016.6 B5 4p
川瀬秀治と群馬県 佐藤 有
「上野国麻奈咄古」について 関口 功一

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会 〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5 大圖口承方 TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
◇323 (63-1) 2016.5 A5 46p
古代児玉郡と金佐奈神社 森田 悌
崇徳寺跡を考える(上) 一地域史の立場から 内野 勝裕
秩父のオオカミ信仰—両神社・

三峰神社を訪ねて想う 廣瀬 爲人
武蔵国熊野修験笹井観音堂(4) 高橋 一
実は郵便番号7桁制発祥の地であった川越 鯨岡 真一
「ばてれん山」(3)—そして一本木、二本木…丸谷、丸屋敷…の謎 関根 和美
表紙写真解説 東松山市西本宿共同墓地 万治二年(1659)六大體大塔 (四方田)
口絵写真解説 山田吉令筆大谷木本毛呂系図覚書(部分)・小浜市酒井家文庫蔵 大圖 口承
例会報告 第669回 寄居町見学 高橋 武夫
式内社を中心に古代史を探求 森田 悌

◆我孫子市史研究センター会報 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404 www.geocities.jp/abikosisiken/
◇172 (通479) 2016.6 A4 8p
「臼井城址と佐倉城下を歩く」 H28年度第2回歴史探訪 荒井 茂男
「臼井城址と佐倉城下を歩く」に参加して 石井 英朗
「臼井城址と佐倉城下を歩く」に参加して 吉田健次郎
歴史部会5月の活動 『野田醤油の近代』発表の要旨 谷田部隆博
古文書日曜部会 新テキスト:『落穂集(追加)』(大道寺友山著)について 清水千賀子
◇173 (通480) 2016.7 A4 8p
古文書解説日曜部会 「古文書」学(?)への誘い 小林 和彦
座学—見て聞いて楽しむ「水戸道中」—を聴講して 長谷川秀也
我孫子市布佐下地区の水神様(オ

ビシャ) 近江 礼子

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円
2012年創刊

◇13 2016.5 A4 8p
志津の地名について(2) 田中 征志
「気になる地名」(続き) 小川 眞資
庚申塔 掛川 健治
北総散策シリーズ
飯高寺と飯高壇林 伊藤 清
新町名誕生「寺崎北」その(1) 伊藤 清
◇13別冊 2016.5 A4 12p
《特集
佐倉地名研究会 設立三十周年を顧みる》
設立三十周年を迎えて 野村 忠男
三〇年を振り返って 松平喜美代
第二代会長 松裏先生を偲んで 伊藤代々子
佐倉地名研究会 三十周年を迎え
ておめでとうございます 福田美代子
地名研に出合うまで一雑感 山部 紘
三十周年記念事業
佐倉地名研究会のあらまし概要
佐倉地名研究会 30年のあゆみ
記録・宮武孝吉
「地名を訪ねる」活動実施記録
平成20年度～27年度 記録・小坂義弘
佐倉地名研究会
歴代会長・副会長一覧
地誌 多輪免喜 発刊記録／機関
紙「佐倉の地名」発行記録
佐倉地名研究会
これからの三十年について 伊藤 清

◆千葉史学 千葉歴史学会
〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982年創刊
chibareki.blog.fc2.com

◇68 2016.5 A5 100p
「歴史に学ぶ」ということ
一教科書検定に携わって 上山 和雄
江戸の彫物師・名人島村圓鉄の魅
力 山口 文
地域の歴史とその継承の必要性一
卒業論文を通して学んだこと 平野 允哉
いま、アクティブラーニングを考
える一問われる歴史教育の役割
齋藤 一晴
南北朝・室町期における東国醍醐
寺領と東国顕密仏教界の展開 小池 勝也
上総・下総地方の俘囚の反乱と情
報伝達 佐々木虔一
史料紹介 佐倉藩士の家に伝わっ
た沼田藩真田家知行宛行状 土佐 博文
新刊紹介
岡田清一著『相馬氏の成立と発
展 名門千葉一族の雄』 外山 信司
宮間純一著『国葬の成立一明治
国家と「功臣」の死』 佐藤 麻里
石橋一展編著『下総千葉氏』 石渡 洋平
藤方博之編『佐倉市飯野町 熊
谷家文書目録・調査報告』 菅原 憲二
平山昇著『初詣の社会史 鉄道
が生んだ娯楽とナショナルリズ
ム』 矢嶋 毅之
常総市での水損行政文書レスキュ
ー活動に参加して 市川 超大
見学記
館山市立博物館本館特別展「館
山藩一稲葉家と藩士たち」澤田 恵子
野田市郷土博物館特別展「生誕
180年 押絵師勝文斎～野田
にやってきた江戸・東京文化
～」 大野木朝子

千葉県文書館・宮内庁宮内公文
書館共催展「皇室がふれた千
葉 × 千葉がふれた皇室」 中澤 恵子

◆房総石造文化財研究会会報
〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊

◇130 2016.7 B5 6p
この会とともに 沖本 博
会長に就任して 早川 正司
富士登山二百四十五度真願成就碑
藤平 俊雄

◆あしなか 山村民俗の会
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇306 2016.6 B5 20p
表紙解説 谷文晃『日本名山図會』
収録「天城山」右片面 鷲頭 隆
下田街道・忘れられた峠道(続編)
一二本杉峠・小鍋峠・広尾峠(2)
鷲頭 隆
「お蚕様」農家の春夏秋冬一下野
市川中子での少年期回想 井上 義雄
「蠶玉大神」の石碑
一甲州北杜市明野にて 井上 明生
旅の草ぐさ(20) 多賀神社の龍と
熊野神一伊豆の温泉神と龍蛇・
(2) 邑科 久乃
事務所・新旧交代ごあいさつ
「執筆別目録」の続きを一事
務所の十四年をふり返って 小海 敏雄
小海さん、お疲れさまでした一
引継ぎに「ホゾを固めて…」 塩野谷明夫
文献紹介 無形の民俗文化財記
録・第61集 北関東のササガミ

習俗 文化庁文化財部編刊
会員著書 忍野村富士信仰調査報
告書 忍野八海を中心とした富
士山信仰と巡礼路

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇580 2016.6 A4 4p
千住の酒合戦と闘飲図巻(1) 佐藤 秀樹
「荒川の五色桜」異聞 船津静作
とチェリー・イングラム 樋口 恵一
西加平神社新社殿落成 矢沢幸一郎
◇581 2016.7 A4 4p
四箇領二十一ヶ所と瓦大師(上) 小川 政秋
千住の酒合戦と闘飲図巻(2) 佐藤 秀樹
文淵の日記から(3)
医師との交流 郷土博物館

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇339 2016.6 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(2)
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 扇1丁目 タイサンボ
ク
鳩ヶ谷宿探訪
所理喜夫先生を偲ぶ会での弔辞 安藤 義雄
27年度史談会大学まとめの講義
郷土史を学ぶ意義 安藤 義雄

◇340 2016.7 A4 8p
区役所にもサクラの園を 区歌で
も謳う五色桜は区民の花・歴史
を彩った名勝の花 (堀・矢)
終戦直後の日本の教育改革の原点

米国教育使節団の報告書(3) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 タブノキ 舎人氷川神
社境内
6月探訪 烏山寺町訪問
学童疎開体験記・上(千住第五国
民学校)「戦中体験記」「疎開
の片隅」宇田川勇夫 宇田川欣作
御師の町に残る「千住同行」の灯
籠

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇116 2016.6 A4 10p
祝!府中駅誕生100年(1)
京王電車がとるまで 花木 知子
最近の発掘調査 奈良時代の堅穴
建物跡から勾玉が出土 白糸台
六丁目 西野 善勝
NOTE 中世の安養寺 深澤 靖幸
展示会案内 企画展 発掘された
中世遺跡―府中市西府の考古学
深澤 靖幸
展示会案内 特別展 京王電車が
とおったころ～府中駅誕生100
年記念～ 花木 知子
『県居井蛙録』にみる江戸時代の
庶民の生活(5) 米や麦をつくる
佐藤 智敬

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹瀧方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

◇288 2016.5 B5 48p
表紙写真解説 「徳丸北野神社獅

子舞」(板橋区指定無形民俗文
化財) 写真と文・井上富夫

板橋区の水車(2)
石神井川の水車(前) 小坂 克信
「我が家の行事と食」覚え書き(1)
一昭和三〇年代向原の農家を振
り返って 三原寿太郎
板橋区史編さんと公文書館運営に
関わって(2)―板橋史談会と私
の縁 松澤 歌子
昔あって、今ないもの―戦前の東
京名所の二、三の思い出 若林 清

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7

◇409 2016.5 B5 23p
懐想の鷲丸山 町田 尚夫
不遇の三角点峰 吉田美知子
奥武蔵・秩父の獅子舞(63)
一千石の田場所、神戸の舞 関口 洋介
◇410 2016.7 B5 25p
ユニークな三角点 町田 尚夫
奥武蔵百山経過報告 加藤 恒彦
奥武蔵・秩父の獅子舞(64)
一南畑、八幡神社の舞 関口 洋介
一千回山行参加の足跡 成川 茂雄

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188

◇202 2016.6 A4 8p
催事スケッチ あばれ祭り 疫神
退散の祈りを込めた宇出津熱狂
の祭り 石川県鳳洲郡能登町宇
出津 写真・文 渡辺良正
一般社団法人儀礼文化学会 第36
回春季大会開催一催し“四條流
包丁儀式”を拝見

会長式辞 中島精太郎
理事長挨拶 倉林 正次
会員を訪ねる
出羽三山神社／伊佐須美神社
儀礼文化セミナー(平成27年度第
6回) フラワーデザイン 「花
束の文化史」 龍口 智子
儀礼文化講座(平成27年度第7回)
短歌 「生きること、歌うこと」
講師：桑原正紀
儀礼文化講座(平成27年度第8回)
儀礼文化論 「儀礼文化とは」
講師：倉林正次

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇120 2016.5 B5 10p
第398回 月例研究会
北区の歩道橋 本間 孝夫
第399回 見学会 渋沢史料館と晩
香廬・青淵文庫 林 健一
第400回 月例研究会 荒川筋下掃
除舟関連の文書について 倉木 常夫
ルーツへの旅立ち(1)―小杉家の
ルーツ(家系)をどのように調べ
たのか、調べているのかについ
て 小杉善一郎

◆産業考古学研究 東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548 2014年創刊
tias3.web.fc2.com

◇3 2016.5 A4 56p
東京産業考古学会の設立20周年に
際して 小山 徹
東京産業考古学会発足から20年
一でも本当は6、7年くらい 馬場 永子

日本で活躍した蒸気機関車技師ト
レビシック兄弟とその一族 藤本 雅之
「時」とのインパルス
一産業遺産の撮影私論 奥原 一三
旧紀長伸銅所煉瓦造工場の軸部に
ついて 平屋建煉瓦造壁体の基
礎と補強方法 堀内 仁之
ブルネッレスキの創造―古代と近
代をつなぐものづくりの知恵 吉田 修
横須賀製鉄所設置のスチームハン
マーの製造国の検証 白石 健一
博物館紹介 たばこと塩の博物館
一企業系博物館としての歩みと
移転・リニューアル 半田 昌之
身近な産業遺産の保存の活用 多田 統一

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊

◇31 2016.3 B5 127p
品川歴史館と私 北原 進
品川区立品川歴史館「松滴庵」の
平面と意匠 小沢 朝江
松滴庵普請記―品川歴史館茶室調
査から補修までを振り返って
永松賢一／渡邊隆／山下優美子
小特集 開館30周年記念特別展
「東海道品川宿」
東海道品川宿石積護岸の形成と
展開―近世における石垣構築
技術継承実態の検討 富川 武史
展示批評 開館三〇周年記念特
別展「東海道品川宿」を見て
玉井 幹司
近世遺跡出土の賤機焼の特徴と年
代観 中野 光将
展示会で振り返る品川歴史館の三
十年

◆じゃんびん NPO法人歴史資料継承機構
NEWS LETTER

〒198-0063東京都青梅市梅郷3-863-2
西村方 rekishishiryoyo.com

◇21 2016.5 A4 4p
現地学生と発掘する宿場の歴史 栗原 佳
第8回 南伊豆を知ろう会の報告を
聞いて 上岡 史拓

2015年9月関東東北豪雨で被災し
た常総市役所公文書レスキュー
について 平野暁子／吉原大志

常陸太田市武子家文書にみる長谷
村 武子 裕美
民間所在資料との関わり方 金子 千秋
「じゃんびん」の活動とその取り
組みの意義―「平成28年熊本地
震」を受けて 三角 菜緒

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇94 2016.7 A4 6p
創建時の松江城天守の姿―今と異
なる「正保城絵図」にみる外観
だった

熊本城の地震被害から
伊達藩領の要害、所とは
最近の注目される城郭関係図書か
ら／各地の城郭研究会活動から
／平成28年日本城郭史学会総会
・大会から

◆杉並郷土史会史報
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇258 2016.7 A4 10p 400円
わが「真板」姓についての一考察

真板 道夫

玉川上水の取水口、羽村堰のひみ
つ 河村康博先生のレジメより
第544回例会記 玉川上水の話
羽村市郷土博物館長 河村康博
先生 新村 康敏

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/

◇235 2016.6 B5 33p
巻堀の金精神 大島 建彦
渡良瀬遊水地周辺の水神・洪水記
念碑と洪水の記憶―渡良瀬川畔
・利根川畔 久野 俊彦
狛江市東和泉の玉泉寺の観音像巡
行習俗とおしゃもじ様の信仰 清水 亨桐
長野県为天狗像 高橋 成

◆世間話研究
世間話研究会（発売：岩田書院）
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學 飯倉義之方 1989年創刊

◇24 2016.5 A5 122p 1000円
「妖怪図鑑」談義―『琉球妖怪大図
鑑』と『台湾妖怪図鑑』をめぐ
って 伊藤 龍平
カッパはポセイドンである―近世
後期における東西妖怪比較試論
廣田 龍平

虹の橋と地獄の人参―その発生と
伝播を巡る考察(1) 加藤 秀雄
「世間遺産」と「地域遺産」―なん
でもないようなものを遺産にす
る動きに着目して 山川 志典
戦後地域社会における皇族表象の
生成―津軽地方新聞メディアに

おける秩父宮／妃イメージを中
心に 茂木謙之介
書評 聖和学園短期大学国文学科
生著／久野俊彦・錦仁案内人
『1976年夏 東北の昔ばなし 聖
和学園短期大学生のレポートか
ら』 和久津安史

◆せたかい 世田谷区誌研究会
〒156-0045東京都世田谷区桜上水3-12-13
新川陽一方 TEL03-3302-4575 年2000円
1951年創刊 setagaya-kushiken.jp

◇68 2016.7 B5 66p 1000円
横山精太郎前会長を偲んで 内山 昌玄
『せたかい』を通して見た戦後の
区誌研(2) 馬場 優子
「世田ヶ谷村大字池尻」に開局し
た「目黒郵便局」 奥野 徳男
下北沢天狗祭り 黒瀬 威
学習会の活動「大山街道を歩く学
習会」 濱中 正之
九州熊本地震に思う 編集部
復刻 「大震災の歴史」 下山 照夫
街かどトピックス

馬事公苑しばらく休苑
資料紹介 「大勝庵 玉電と郷土
の歴史館写真集」大勝庵館長
大塚勝利編
平成27年度の行事記録
講演会「戦後七十年とはなんだ
ったのか」講師：半澤正之氏
内山 昌玄

バス見学会「甲斐路に古き歴史
ロマンと新しき未来を訪ねる」
奥野 徳男
講演会「東京の近代水道」講師
：濱中正之氏 市川 博正
史跡散歩「秋の世田谷区、杉並

区境を歩く」 松本 龍雄
生涯現役プロジェクト 世田谷
区誌研究会の区民一般参加企
画第三弾「世田谷をもっとよ
く知ろう！」～松陰神社、豪
徳寺、代官屋敷郷土資料館な
ど世田谷の史跡を巡る散策 中井 盛久
バス見学会「東国の小京都
古河・結城」 細田篤志郎
講演会「古代武蔵の国司と地
方豪族」講師：中村順昭氏 武居 義之
講演会「真田幸村を考える」講
師：本郷和人氏 細田篤志郎
史跡散歩「変わる渋谷・変わら
ぬ桜～渋谷周辺」 武居 義之
街かどトピックス 常盤姫伝説の
「エナ不動の祠」が消えた

◆全日本郷土芸能協会会報
〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇84 2016.7 A4 24p
植柳の盆踊 熊本県八代市 国選
沢無形民俗文化財 撮影：平岡
健三氏

郷土芸能復興支援プロジェクト
来るべき災害に向けて―熊本地
震を機に
植柳の古今に想う 野崎 陽子
「伊勢大神楽がお寺にやってきた
！」 蒲池 卓巳

第58回ブロック別民俗芸能大会／
東日本大震災復興支援 早池峰
大償神楽 佐々木隆講演会
地芝居見聞(21)「祇園座 東谷
農村歌舞伎定期公演」、人形芝
居観覧記「ひとみ座乙女文楽

第6回公演」 北河 直子
 地芝居あれこれ(23)
 「二人三脚で地歌舞伎」 蒲池 卓巳
 地芝居探訪(58) 常盤座歌舞伎／
 小鹿野春まつり歌舞伎公演／津
 谷木歌舞伎／鳳凰座歌舞伎／秩
 父歌舞伎正和会 松浦 鳥夫
 空白の沖縄芸能史(13)
 嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
 会員紹介 塩津のいな踊り保存会
 南方 嘉門
 ベトナム「フエ・フェスティヴァ
 ル2016」参加『沖縄芸術舞踏団』
 に同行 帰国報告会を開催 高橋 裕一
 マレの会
 河内の神楽交流の旅(報告) 神野 知恵

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
 ◇292 2016.6 A4 2p 100円
 『法術やり方絵解』
 ◇293 2016.7 A4 2p 100円
 針金細工
 風の神／雷さん

◆多摩地域史研究会会報
 〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇120 2016.5 B5 6p
 第91回例会報告 「日の出町大久野
 の羽生地区を歩く」参加記 芝崎由利子
 稲城市の郷土芸能と無形文化財 進藤 重孝
 ◇121 2016.7 B5 8p
 第25回大会「多摩の地侍・土豪層
 と近世村落」を終えて 梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp
 ◇162 2016.5 A5 118p
 《特集 多摩の花名所》*特集記事省略
 洋風建築への誘い(51) 都立青梅
 総合高校講堂一思い出のたまた
 ばこ 伊藤 龍也
 建物雑想記(46) 都立青梅総合高
 校講堂一受け継がれた講堂建築
 酒井 哲
 古文書は語る(43) 明暦の大火後
 の武蔵野開発一井口家文書「新
 田開発請状」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(22) 古いイモた
 ちの話(2)ーヤマノイモ系のイ
 モ 増田 昭子
 御門訴事件 フィールドワーク六
 回を終わって 飯畑 幸男
 多摩のみほとけ(25) あきる野市
 大悲願寺 木造伝阿弥陀如来及
 脇侍坐像 齊藤 経生
 本の紹介
 羽村市郷土博物館編『玉川上水
 羽村堰ー今に生きる先人の知
 恵と工夫ー』 吉田 雅之
 社会福祉法人楽山会編『高射砲
 陣地跡が語る戦争の記憶ー永
 久平和を希求してー』 小室 克介
 世田谷区立郷土資料館編『世田
 谷の土地ー絵図と図面を読み
 解くー』 吉岡 孝

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
 〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮
 根団地105 多田統一方／〒352-0011埼玉
 県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方

FAX048-479-7490 tias3.web.fc2.com
 ◇118 2016.5 A4 6p
 研究会「化学工業のエポックー企
 業盛衰の百年」(高分子化学シ
 リーズ第1回) 平井 東幸
 新刊紹介 富岡経済大学地域科学
 研究所編『富岡製糸場と群馬の
 蚕糸業』 平井 東幸
 産業考古学会の「近代化遺産」シ
 リーズ講演会 平井 東幸
 新刊紹介 東京都産業労働局編
 『東京 カイシャハッケン伝
 ガイド』／日本パッケージデザ
 イン協会編『新版 日本のパッ
 ケージデザイン その歩み・そ
 の表情』 多田 統一
 産業遺産を訪ねて(4) 箱根・宮
 ノ下 富士屋ホテルー保存活用
 の好事例 平井 東幸
 書籍紹介 『世界へとどけ！勝山
 シルクー勝山製糸会社と官営富
 岡製糸場』 平井 東幸
 茨城県常総市の赤煉瓦建築物(7)
 「旧絹江製糸会社の煉瓦塀」
 文・写真 八木司郎

◇119 2016.7 A4 6p
 研究会「舞台裏から見たプラスチ
 ック開発の歴史」(高分子化学
 シリーズ第2回) 奥原 一三
 見学会「江戸・東京の水運の発達
 を見る」ー中川船番所資料館・
 旧小松川閘門及び荒川ロックゲ
 ート 吉田 修
 新刊紹介 『明治の勝山産業ー煙
 草と生糸から羽二重へ』 平井 東幸
 新刊紹介 『J-BIRD 写真と登録
 記号で見る 戦前の日本民間航
 空機』 平原 国男

産業遺産を訪ねて(5) 大潟村千
 拓博物館ー国営干拓事業を振り
 返る 平井 東幸
 新刊紹介
 『石油化学技術の系統化調査』 平井 東幸
 茨城県常総市の赤煉瓦建築物(8)
 「海老原邸の赤煉瓦煙突と門柱」
 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
 〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究
 所 TEL03-5857-5631 年2000円
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net
 ◇29 2016.7 A4 8p
 みなさんの友情にありがとう、と
 早乙女勝元
 文化社撮影写真を公開します
 『東京復興写真集1945～46』刊
 行と特別展「文化社が撮影した
 敗戦直後の東京」写真展の開催
 井上 祐子
 2016年第1回特別展「はくと戦争
 ー小池仁戦争体験画展」開催報
 告 山辺 昌彦
 証言映像プロジェクト 新しい証
 言映像作品を公開しました『和
 代の手紙ー大島二丁目の家族へ』
 山本 唯人
 東京大空襲を語り継ぐつどいー東
 京大空襲・戦災資料センター開
 館14周年 大山 圭湖
 センターで体験を語って 清岡美知子
 東京大空襲・戦災資料センターの
 展示を紹介するあたらしい映像
 『東京大空襲ってなに？』がで
 きました 山辺 昌彦
 映像による記憶のフィールドワー
 ク作品『亀戸のまさおちゃんー

東京空襲風景記』上映&トーク
の会が開催されました 山本 唯人
語り継ぐ
体験者講話、ガイド・ボランティアについて 比江島大和
ガイド・ボランティアを体験して 斎藤能理子
共同研究「戦後都市社会における
空襲被災者運動の歴史学的研究」
大岡 聡
霊名簿研究会の最近の活動 青木 哲夫

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊
◇115 2016.7 B5 6p
第115回例会 「城」を語る地名
一中世地名を中心に 八巻 孝夫
第116回例会 貫井二丁目遺跡出
土飾金具の歴史的背景 栗原 晴夫

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇361 2016.6 A4 4p
石神井公園史年表 葛城 明彦
ふたたび勝田次郎について(3)
一享和三年と元治元年の箱館奉
行所 日向康三郎
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(26) 二、真崎甚三郎(23) 鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方
TEL03-3999-8871 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇56 2016.6 B5 4p
真田信繁と真田丸の攻防 渡邊 大門
分からない字は読めない字 羽鳥 孝明
人名についての疑問 保戸塚太地
女性のふみの魅力 西岡 翠

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1986年創刊
www.hblri.org

◇90 2016.6 A4 12p
総会記念報告 排除と支配の構造
から脱却するためには—フラン
スにおける「イスラーム」の問
題をてがかりに 池田賢子さん
第29回研究・交流集会報告
全体会
栃木の部落解放運動の現状と
課題 戸田真さん 石井昭一郎
関東の被差別部落の西と東—
利根川水系＝水上交通の視
点から 坂井康人さん 三俣 孝
第1分科会 栃木の部落史 宇都
宮の歴史 稲田美波さん／日
光領の部落史 竹末広美さん
三俣 孝
第2分科会 差別と向き合う—人
権・同和教育の現状と課題
私の同和教育 柏瀬和彦さん
／大切なものを伝えたい 海
野敦彦さん／“部落の子”とし
て出会いたい 浅井誠さん 松浦 利貞
オプション フィールド・ワーク
ガイド 和田献一さん 石井昭一郎

◆ぶい&ぶい 無為無為
日本史史料研究会
〒171-0041東京都練馬区石神井町5-4-16

日本史史料研究会石神井公園研究センター
内 2008年創刊
www.l3.plala.or.jp/t-ikoma/
◇29 2016.4 A5 36p
首里城公園内金石文二題—弁財天
堂前の手水鉢と冊封正使趙文措
の石碑片 下郡 剛
『古文書十八通』中の宇喜多氏関
係史料 渡邊 大門
「源氏の嫡流」と鎌倉期足利氏 鈴木 由美

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学学術院 大日方研究室内
1962年創刊
◇91 2016.7 B5 102p 1500円
《特集 帝国日本と植民地の人びと
—戦争・教化と自己認識—》
特集にあたって 民衆史研究会委員会
〈国語〉と軍隊—日本統治期台湾
における〈皇民文学〉を中心に
和泉 司

ボーダーラインとしての植民地—
台湾の青年団女子におけるエイ
ジェンシーを中心に 宮崎 聖子
植民地末期＝戦時体制期朝鮮にお
ける「帝国の教化」の包摂と排
除 金 富子
コメント 植民地近代の見方—暴
力と主体の問題をめぐる 趙 景達
書 評
木村茂光著『日本中世百姓成立
史論』 鎌倉 佐保
海老澤衷・高橋敏子編『中世荘
園の環境・構造と地域社会
備中国新見荘をひらく』 徳永 裕之
小松賢司著『近世後期社会の構
造と村請制』 清水 詩織

杉本弘幸著『近代日本の都市社
会政策とマイノリティ 歴史
都市の社会史』 藤田 貴士
新刊紹介 アジア民衆史研究会・
歴史問題研究所編『日韓民衆史
研究の最前線 新しい民衆史を
求めて』 金山 泰志

◆民俗芸能学会会報

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内
TEL03-3203-4141 年6000円
◇89 2014.7 A5 12p
評議員日より
沖縄県より 茂木 仁史
山形県の民俗芸能団体概況 菊地 和博

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33
法政大学デザイン工学部建築学科内
TEL03-5228-1496 年9000円
www.folkhouse.org
◇149 2016.5 B5 102p
2015年シンポジウム展望 杉本 尚次
大会発表研究論文
民家の蓄熱特性を現代住宅へ応
用した際の効果について
金田正夫／出口清孝

桜井神社摂社大神宮と神仏分離
佐藤 正彦
バンクーバーにおける幻の新渡
戸庭園—太平洋を渡った石燈
籠 河原 典史
日本の伝統的住居の温熱・空気
環境に関する CFD 解析(1)
—各時代の夏季における屋内
気候の再現 出口 清史
香椎宮本殿幣殿拝殿の沿革 佐藤 正彦

沖縄の民家における柱間寸法 菊地 憲夫
平成27年度日本民俗建築学会シン
ポジウム・見学会報告 房総半
島から太平洋岸にひろがる分棟
型民家の分布を考える一カマド
を分離した日本の民家 榎 美香
シンポジウム基調講演
安房の分棟型民家(1) 日塔 和彦
民俗建築アーカイブ(10) 天明年
間の奥家古文書 民俗建築アーカイブ担当
新刊紹介『DVD ブック 甦る
民俗映像—渋谷敬三と宮本馨太
郎が撮った1930年代の日本・ア
ジア』宮本瑞夫・佐野賢治・北
村皆雄・原田健一・岡田一男・
内田順子・高城玲編集 堤 涼子

◆明治維新史学会だより

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学文学部 落合弘樹研究室
2004年創刊 www.ishinshi.jp
◇23 2016.5 B5 20p
〈2016年度明治維新史学会大会報告要旨〉
嘉永・安政期における幕政と大名
—徳川斉昭「参与」の実態 篠崎 佑太
長州処分問題をめぐる仙台藩の動
向—情報収集・藩内意見集約と
対外発信に着目して 竹ヶ原康佑
慶応期における土佐藩政と中央政
局—後藤象二郎の大政奉還運動
を中心に 岩村 麻里
旧刑法改正論のゆくえと司法省に
おける旧民法編纂の契機 大庭 裕介
明治二〇年代初頭 地方青年の政
治活動についての一考察—民権
運動家 森隆介と雑誌『常総之
青年』を中心にして 飯塚 彬
山陰史料ネットの活動と私 岸本 覚

原子力災害被災地における地域
資料保全—富岡町歴史・文化
等保存プロジェクトチーム 門馬 健
例会報告要旨
明治初期の「派遣記者」—西南
戦争における記者処遇からみ
る政府／政府軍／報道機関の
関係 渡邊 桂子
戊辰戦争、会津藩討伐をめぐる
奥羽鎮撫総督府の戦略的実態
—西日本平定過程との比較検
討の試み 水谷 憲二
生麦事件償金支払い問題をめぐ
る徳川慶勝・茂徳の動向 伊藤 乃玄
琉球国における異国人および異
国船対策と取扱い規定—新出
史料の検討を中心に 小林 伸成
神葬祭地の設置と諸侯華族 黒坂 拓哉
慶応四年の開成所会議と「徳川
家公議体制」 杉本 史子
教育行政と「学術活動」の関係
性—内閣制前後の文部省編輯
局を中心に 松谷 昇蔵

◆論集きんせい 近世史研究会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
TEL03-3812-2111 1978年創刊
◇38 2016.5 B5 80p
文化・文政期における鹿児島藩の
藩債整理—鴻池との関係を中心
に 福元 啓介
幕末開国と長崎通詞制度の課題—
長崎唐通事何礼之助の制度改革
案を中心に 吉岡 誠也
明治元・二年長崎の政治外交と沢
宣嘉—東京大学史料編纂所所蔵
「九州事件并長崎裁判所御用仮

留日記(一・二)」、外務省外交
史料館所蔵「諸事心得留」の翻
刻と考察(一) 澤井 勇海

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊
◇15 2016.7 A4 4p
古代の愛甲に関する二、三の憶説
鈴木 靖民

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇246 2016.7 A4 28p
果てのない芸の嘶—祖父と私の小
田原謡曲史 話し手 中津川悦
子さん
徒然なるままに一忘れられた地名
(1)「酒匂鍛冶分」 杉山 虔一
史談再録 52号(1968年10月)
明治百年小田原の謡曲界懐古 清水専吉郎
史談再録 191号(2002年10月)
小田原叢談(43) 小田原と謡曲
石井富之助
一句鑑賞 天守より松明の火や能
の秋 鳥海壯六 剣持 芳枝
第13回小田原史談会セミナー「小
田原の歴史を掘る」要旨 講師
：渡辺千尋氏 (山口)
小田原の郷土史再発見
武蔵遠山家と松田の延命寺 石井 啓文
神奈中の「小田原町」バス停につ
いて 渡邊 喜治
小田原桐座について(6)
—由緒書の検討を中心に 荒河 純

片岡日記 昭和編(7)
昭和2年11月 片岡永左衛門
5月研修会報告 江戸の手本とな
った小田原早川上水と用水が巡
る小田原城大外郭西南稜を歩く
鳥居泰一郎

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会

〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 TEL0465-22-5862 1969年創刊
◇28 2016.5 B5 116p 950円
北条氏による民兵動員 梯 弘人
大老堀田正俊殺害事件の真相を考
える 下重 清
富士山噴火後における債務処理の
変容—18世紀の金井嶋村を中心
に 荒木 仁朗
小田原領曾比村の農民経営と尊徳
仕法(上) 松尾 公就
明治前期～中期における小田原報
徳社の貸付事業 坂井 飛鳥
敗戦後の民衆—1945年後半の小田
原市を事例として 井上 弘
神奈川県に残された西南戦争軍人
戦死之碑と石碑建立について 津田 守一
書評 井上弘『知られざる小田原
地方の戦争』 山田 昭次

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26
◇34 2016.6 A4 2p
書籍紹介『地域と人びとをささ
える資料～古文書からブランク
トンまで～』神奈川地域資料保
全ネットワーク編 (多和田)
『十二所 小長井日記』を読む(4) (高階)

◇35 2016.7 A4 2p

『十二所 小長井日記』を読む(5)
御成遺産講演会：壊したくない眺
め 御成小学校改築計画から見
えてきたこと

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇145 2016.5 B5 6p

関東大震災の現況をいかに後世に
残したのかー神奈川県足柄上郡
開成町金井島の「かぞえぶし」
から 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市中区老松町1 横浜市中
央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/

◇26 2016.7 A4 12p

小柴の沿岸漁業と海苔づくりー戦
後養殖技術の「高度成長」 平野 正裕
兵士たちが生きた時代
一日中戦争から太平洋戦争へ 羽田 博昭
渡米する金魚
一昭和初期の金魚輸出 百瀬 敏夫
閲覧資料紹介 小柴漁業関係写真
(小山紀雄氏所蔵) 平野 正裕

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付
TEL045-201-2169 年2000円

◇73 2016.6 B5 4p

新刊情報
白井哲哉・須田努編『地域の記
録と記憶を問い直すー武州山

の根地域の一九世紀ー』 松本 洋幸
藤沢市文書館編『歴史をひもと
く藤沢の資料』1. 御所見地区
澤内 一晃

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒224-0037横浜市中区茅ヶ崎南1-3-10-
409 TEL0452-943-4409 年8000円
1977年創刊 ur0.work/su9s/

◇158 2016.7 A5 64p 2000円

協会の歳月は“人”と“石”との
対話で埋まっている 40周年へ
の想い 坂口 和子
《特集 石仏探訪16

ー創立40周年に寄せて「私と石仏」》
来し方を偲びながら 石田 益雄
40周年を迎えて 石川 博司
行賢の石仏 嘉津山 清
宗教史研究と石仏 時枝 務
空外上人の名号塔 喜代吉榮徳
目黒大円寺の狛犬頭部 内山 孝男
船乗り地蔵は岩船地藏 島田 常雄
美濃・三河の貞治仏を追って 渡辺 浩一
思い出に残る石造物 町田 茂
「わたしと石仏」 黄瀬 三朗
石仏文化財の伝承について 井戸 寛
日本石仏協会40周年記念にあたっ
て 長岡 和慶
人間精神ダイナミズムとしての石
仏虐待儀礼 石塚 正英
神奈川県平塚市の徳本名号塔 妹尾 親司
紀年銘のある肥前狛犬 永渕 秀治
埼玉県内に猿の石像を訪ねて 長島 誠
あ・ら・か・る・とー私の石仏案内
「山王種子」の庚申塔 門間 勇
雨に濡れる馬頭観音 岡田 均
石仏入門(12) 五大尊明王 門間 勇

名号塔の知識(24)

和歌山県の徳本塔 岡村 庄造
「石」を知る(46) 京都の「石文
化」/京都の「石材」 小松 光衛
伊豆の海豚供養塔 中森 勝之
西東京市の岩船地藏 初田 瑞宏
珍しい禁制碑 井戸 寛
日本石仏協会主催・一泊石仏見学
会報告 静岡県藤枝市と静岡市
由比町の石仏巡り 中森 勝之

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開
港資料館気付(吉田律人・平野正裕)
TEL045-201-2169 年2000円

◇5 2015 2016.6 A4 122p

特集 首都と首都圏
シンポジウム「首都と首都圏」
開催の経過と主旨 上山 和雄
江戸首都論 大石 学
幕末の「首都」江戸と外交使節
ー安政4年、ハリスの江戸参
府をめぐるー 吉崎 雅規
鉄道の開通と東京市貨物集散状
況 老川 慶喜

東京都制(首都制度)問題の沿革
1887年山縣有朋の大都市制度
構想から1943年東京都制の実
現まで 白石 弘之
「大東京」から「大東京空間」へ
梅田 定宏

「首都圏計画」の変遷
ー1950年代まで 松本 洋幸
書評 横浜外国人社会研究会・横
浜開港資料館編『横浜と外国人
社会 激動の20世紀を生きた人
々』 林 美和

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇52 2016.6 A5 104p 500円

講演 北村透谷の人間像について
ーペンで近代を開いた人 岸 達志
山内千代と山内一豊 今川 徳子
探美の作家・中河与一 荒川 純
桜町にきた小田原の人々 尾上 武
続・ボクの映画館(6)
シネマ今昔ばなし 平倉 正
国府津今昔(明治から昭和まで)(1)
ー最後の将軍・徳川慶喜と国府
津 武井 秀夫
特別のご褒美 青木 良一

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市中区神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇579 (49-3) 2016.6 A5 24p 350円
九谷焼久谷庄三作「農耕図大皿」
の基礎的検討 中越 康介
書籍紹介
由井常彦・武田晴人著『歴史の
立会人ー昭和史の中の渋沢敬
三』 佐野 賢治
宮本瑞夫・佐野賢治・北村皆雄・
原田健一・岡田一男・内田順子
・高城玲編 DVD ブック『甞
る民俗映像ー渋沢敬三と宮本
馨太郎が撮った1930年代の日
本・アジア』 鈴木 通大
◇580 (49-4) 2016.7 A5 24p 350円
澎湖諸島七美嶼における刺突漁具
の変遷についての若干の考察ー

漁撈史、環境史の仮説の提示を
めざして 新垣 夢乃
「ろくろ」の名称について 小掠 裕樹
民具短信 現代籠作り技術の起源
—民俗考古学からの探究(6) 名久井文明

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇145 2016.4 A5 108p 680円
《特集 古代語の世界》
激減する国民による文化財への大
打撃 デービッド・アトキンソン
旅のことば 古橋 信孝
「門出」のことば 石川久美子
恋のことば 多田 一臣
一人歩きする恋「恋」「思ひ」「心
に乘る」 萩野 了子
時節のことば—『万葉集』の場合 梶川 信行
馬を詠むこと「赤駒」「黒馬(駒)」
「青馬(駒)」 鈴木 雅裕
永別のことば 森 朝男
永別のことば「泣く・哭く」 高桑枝実子
地方のことば 居駒 永幸
地方のことば一馬と駒 山口 直美
信仰のことば 斎藤 英喜
信仰のことば「ゆ(接頭辞)」 山崎 健太
沖縄のことば
—神歌から、神の眼差し 島村 幸一
沖縄のことば「げらへる」 網川 恵美
音とことば—地名起源譚における
「訛」の認識 近藤 信義
西郷信綱の「音」
—「音」という方法の再評価 坂根 誠
口絵解説 中国少数民族の歌垣
八幡宮紹介 宮尾八幡宮（山口県
宇部市西万倉）

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
加藤導男方 1984年創刊
◇74 2016.5 B5 42p
片倉小十郎重長 竹村 紘一
葬送の歴史と現代のお寺事情 加藤 導男
伊藤若冲・余話「京都意識高倉市
場の乗取り騒動」 西山 達夫
鎌倉戦乱シリーズ(6) 承久の乱 山崎 宣晴
平成二十七年度秋季歴史散歩「紅
葉の鎌倉名利を訪ねる」 渡辺美智子
ふるさと黒駒村の歴史 高野 賢彦
紀行〜宗像大社参拝、そして新奴
国展見学 大岩 泰
高島嘉右衛門 山口 正枝
彷徨える言霊 昂(瀬谷舜二郎)
神奈川県に於ける稲品種の変遷 近藤 正次
『古事記』と『日本書紀』(3) 栗 光行
初期弥生人とは誰か 木村 高久

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.geocities.jp/niigata_minzokugaku/
◇400 2016.5 A5 258p
《第400号 記念特大号》
『高志路』の第四〇〇号に寄せて 佐藤 和彦
記念論文集
良寛研究と小林存 井上 慶隆
民俗の変化と変容 金田 文男
新潟県の民具探訪
—共同探訪ノートから 五十嵐 稔
ヤサプロバサ考—吹雪の晩にや
ってくる人食い鬼婆 高橋 郁子
新潟の怪猫—猫をめぐる民間信
仰の諸相 清水 芳見
北へ向かうコシオウ神社 佐藤 和彦

不動沢の巫女爺見聞記—長岡市
不動沢、二〇一五年八月 坂井 美香
加茂市七谷地区下黒水における
寒倉講寒行 その1—寒念仏信
仰についての考査(4) 岩野 笙子
クマノリ(月の輪熊乗り)習俗聴
取考—分布・具体的伝承を中
心に 天野 武
豪雪、中山開地、民俗の宝庫
越後二十村郷の民俗 広井 忠男
越後方言の雪語彙(8) 高橋 実
小特集 私の近況・思い出すこと
・研究ノートから
近況報告 柳平 則子
初心を紛れて、終わりに思うこ
と 池田 亨
『中魚沼の物語』のことなど 山崎 光子
修験と瞽女と 鈴木 昭英
一一年六か月の後に 鶴巻 武則
盆におけるヌルデの利用につい
て 三国 信一
円筒形サイの神とアネにオバ 外山 正恭
飯田文書「大江真武流陣貝之巻」
について 野村 憲一
新潟県民俗学会・『高志路』のあ
ゆみ
共同探訪を顧みて 駒形 彪



有志見学会を振り返る 鶴巻 武則
『高志路』・新潟県民俗学会略年
表
『高志路』テーマ別特集号一覧
新潟県民俗学会年会における講
演・研究発表記録
*新潟県民俗学会の機関誌『高志路』が昭和
10年(1935)の創刊以来80年、何度かの休刊の
危機を乗り越えて400号を迎えた。当初は高
志路社(1巻2号より高志社)から小林存氏を編
輯兼発行人とする月刊雑誌として刊行された
が、昭和28年に編集兼発行人は小林氏のまま
新潟県民俗学会を発行人とし、現在の研究会
体制になった。創刊の年に小林氏が日本民俗
学講習会に参加したことから柳田国男の知遇
を得て、戦前に3度寄稿を受けている。
同会は機関誌のほか、年会、共同探訪、談
話会、有志見学会などを中心に活動をしてき
ている。中でも昭和40年に三島郡寺泊町野積
(現長岡市)から始まった共同探訪は、毎年2
日間かけて県内集落の民俗事象を悉皆調査す
るもので、2012年で44回になる。参加者は毎
回30名を超え、多い時には75名にもなった。
同会活動の根幹をなすものといえよう。激し
く変容する昨今の社会情勢下で、探訪は困難
になってきているというのが、まだ調査の及ん
でいない地域もあるとのこと。是非とも継続
して欲しいと願うものである。こうした機関
誌『高志路』の長年の刊行と民俗探訪の継続
など、多年にわたって民俗学の発展に寄与し
たことで、平成24年度には柳田賞を受賞して
いる。
◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊
◇53 2016.5 B5 299p

火炎土器の大きさ雑考
越後長岡・火焰土器の話(2) 小熊 博史
栃尾地域石峠の山城遺構について 鳴海 忠夫
栃尾城と総鎮守・諏訪神社の歴史 石田 哲彌
古志郡の式内社(1) 鰐渕 好輝
四郡式内神社連印 鰐渕 好輝
ホムチワケ伝承試論―川口・柏崎・岩室が和那美伝承の故地の理由を探る 鷺尾 謙治
槌脱荘撰田屋の考察 小林 芳郎
長岡城主前任の長峰城跡(新潟県上越市)・大胡城跡(群馬県前橋市)の現場報告 横山 勝栄
見落とされてきた越後近世俳諧文化の世界―歴史と文学の狭間に展開する広大な裾野 高橋 実
北越戊辰戦争時における長岡藩士の家族について 本山 幸一
小千谷談判の主役 岩村精一郎高俊の人物像と風土 広井 忠男
小林虎三郎の「伊香保日記」をひもとく 小熊よしみ
北海道 野幌開拓に貢献した平沢政栄門について 小片 莊平
『河井継之助傳』と曾祖父「肥田野畏三郎」(8)―与板から小島谷「住雲園」へ 吉崎こずえ
アメリカの杉本銭子と松之助シンシナティとシカゴに残る記録から 青柳 保子
ベルツから小金井良精への手紙―「小金井良精資料」から 青柳 正俊
東山油田「敢闘像」の修復について 其二 菅野 泰史
東山油田拾遺 内山 弘
旅館王大野甚松の長岡市への貢献

林 昇
二尺玉開発の歴史―大正時代の花火師の活躍の跡を追う 長谷川健一
富島小学校の足跡 山岸 利光
長岡空襲の人的惨禍―『長岡空襲戦災殉難者名簿』から 古田島吉輝
長岡市章の変遷について 金垣 孝二
写真で見る・昭和長岡の街(1) 長岡駅 長谷川浩一
関原公園の池と水系と近隣の瓦工場について 広川 潔
「出来一橋」由来 一幻の分水路を求めて 木本 二郎
長岡の歴史博物館について(2) 太田 修
講演録 北越製紙百年史編纂に携わって 小林多加志
地域探訪報告
「上越・妙高の史跡・博物館」をたずねて 小金井弘一
「出雲崎尼瀬の歴史散歩」に参加して―石油の里と越後孝婦ゆりを訪ねる旅つ 大崎 勉
巡見バス旅行報告 牧野家ゆかりの大胡城と世界遺産富岡製糸場 米山 忠彦
平成27年度 古文書解読講座 田中 洋史
第6回『長岡郷土史』を読む会 山谷 恒雄
長岡市委託事業報告 近代資料の調査―「北越新報」記事にみる互尊文庫(3) 西 和美
◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊
◇153 2016.7 A4 20p
良寛つれづれ(2) 良寛さんに学ぶ 山本 良一

良寛遺墨鑑賞(1) 貞心尼宛書簡
先日は眼病の療治 小島 正芳
折々の良寛(42) 高齢者大学における良寛講座 長谷川義明
第39回 全国良寛会糸魚川大会開催～薫風に古代のロマンをのせて 文責・宮迫勇／写真・坂上義興
相馬御風の良寛(2) 良寛「最期」の姿 金子善八郎
花を育て愛した良寛 本間 明
心に光を抱いた人 良寛 一児童への願い 松世 勝久
良寛 弥彦の歌 素描 吉田 福恵
『良寛和尚の伝記に思う』 良寛さん得度の師は玄乗破了ではない 藤田 正夫
国際シンポジウムにおける良寛の書の紹介 角田 勝久
良寛を訪ねて(2) 出生の地 出雲崎(中) 吉井 清一
◆富山史壇 越中史談会
〒930-0115富山県富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050
1954年創刊
◇180 2016.7 A5 102p 98円
越中富山における宗達派絵画の存在状況をめぐって―「俵屋」「伊年」作品に関する所見を手がかりに 杉崎 貴英
不受不施僧日経の来越をめぐる諸問題 久保 尚文
史料紹介
視覚化された信仰の系譜 一専念寺の和朝先徳連座像 松山 充宏
越中を舞台にした謡曲と狂言 胡桃 正則
ある「喧嘩」についての浦田村の七右衛門等からの注進書 浦田 正吉

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊
ishikawa-rekihaku.jp
◇118 2016.7 A4 6p
夏季特別展「Ceramics Japan 陶磁器でたどる日本のモダン」
夏季特別展「セラミックス・ジャパン」陶磁器でたどる日本のモダン」／関連行事
金沢の曳山文化 大門 哲
キャリア教育～職場体験を終えてみて 永井 浩
◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1 中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年6000円
◇41 2016.5 B5 8p
二つの山開き 草加市「瀬崎の富士行及び富士塚」／志木市 田子山富士修復
見学会報告
横浜市鶴見区を中心に 清瀬市中里の火祭り 吉田 千秋
◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/
◇82 2016.6 A4 4p
第14回飯田市地域史研究集会
飯田藩と地域社会
リレーミニエッセイ(2)
「家」の歴史 吉田ゆり子
歴研Q&A 江戸時代の人たちはどこへ旅したの? (千葉研究員)

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1057 (64-6) 2016.6 A5 50p 550円
口絵 本屋台「池田丸」の龍頭彫
刻・波頭彫刻 櫻井 弘人
〈第5回「文化財の保護保全を考える会」
(報告)〉
吉澤健会長挨拶
飯伊ブロック当番市町村代表挨拶
光沢 郁夫
基調講演「文化財の効果的な発信
・活用—南信州文化財の会の皆
さんと考える—」 中村 豊
事例発表
高森町の文化財活用と地域活動
—BUNKAXAILE の活動を
中心に 岩崎 徹
天龍村坂部のまつりと地域の取
り組み—伝統芸能継承をめざ
して 関 福盛
江戸時代の仏像調査研究の現在
—飯田下伊那の場合 織田 顕行
南信州の十王信仰と十王堂(中の3)
岡田 正彦
新刊紹介 「信濃の戦国武将たち」
長野県立歴史館館長 笹本正治
著
◇1058 (64-7) 2016.7 A5 50p 550円
口絵 韓郷神社「牛若丸・弁慶図
絵馬」絵馬 織田 顕行
商品流通の発展と天竜川交通(2) 伊坪 達郎
江戸時代の人々の家永続への願い
(2)—嶋田村森本家の家訓を通
して 塩澤 元広
奥むめおと下伊那の青年たち(2) 清水 迪夫
思い出の講師(5) 岩村昇(医学)
・福澤義治(吟道) 大原千和喜

天竜川右岸の御社宮司神
—伊那谷南部の小字から二 今村 理則
◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7
TEL0265-78-1269 年5000円
◇713 (60-6) 2016.6 A5 48p 500円
《そば(蕎麦)特集》
世界の中の信州蕎麦
—ソバの起源、蕎麦の多様性 松島 憲一
信州そば発祥の地といわれる伊那
小林 史磨
高遠そば 飯島 進
寒ざらしそば 伊藤 亨
飯島町の種子ソバ栽培 小林 雄一
飯島町のソバと「いいじま手打ち
蕎麦の会」の取り組み 小林 忠彦
中川赤そば花まつり 片桐 充昭
赤そば(箕輪町上古田地区) 唐澤 利文
伊那谷にいた鳥—民俗の窓を通し
て(25) 吉田 保晴
驚くほど早かった伊那地方の種痘
三浦 孝美
◇714 (60-7) 2016.7 A5 40p 500円
伊那市高遠町が「日本で最も美し
い村」連合に加盟—上伊那では
中川村に次いで2番目 山口 通之
井月日記甲・乙翻刻(1) 竹入 弘元
「乱世の井月」の講演記を読んで 矢島 太郎
伊那市が取り組む古い地名調査(3)
竹松 亨
伊那谷のウソ—民俗の窓を通して
(26) 吉田 保晴
文化短信 「伊那地侍八勇士」の
石碑建立 清水 満
古文書の窓(127) 御船を流した
御船守の詫び証文 下平すみ子
会員書籍紹介 田中清文著『諏訪

の御柱—陰陽五行に秘められた
諏訪信仰と古代史の謎— 氣賀澤厚典
◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhomespot.jp
◇105 2016.6 B5 8p
表紙 大河内池大神社春祭典のオ
クヨ(餅投げ)／飯沼諏訪神社
(飯田市上郷)の御柱祭で行われ
た餅投げ 今井 啓
餅投げ、ウチマキが意味するもの
—下伊那南部の「オクヨ」を手
がかりに 今井 啓
民俗学入門ゼミナール第1期 成
果論文要旨 阿智村伍和丸山の
豆腐作り 熊谷 文世
民俗学入門講座第Ⅳ期 柳田国男
の民俗学・その仮説を学ぶ 第6
回 祖霊から穀霊へ 福田所長
講演要旨 『先祖の話』におけ
る祖霊論 文責・今井啓
◆縁 集いの広場 縁フォーラム
〒399-8301長野県安曇野市穂高有明5944-
81 倉石美都方 2012年創刊
◇10 2016.7 A4 34p
道祖神像イメージの展開 倉石 忠彦
戌の日参り—現代安産祈願事情 高久 舞
現代韓国の出産習俗覚え書き 倉石 美都
◆信濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
年10200円 www.shinano-shigakukai.jp
◇797 (68-6) 2016.6 A5 82p 1000円

《隣県特集号 隣県地方史学界の動向
—平成27年(2015年)》
新潟県地方史研究の動向
石原正敏／浅井勝利／田嶋
悠佑／渡部浩二／田邊幹
群馬県地方史研究の動向
深澤敦仁／青木裕美／丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
石坂俊郎／根ヶ山泰史／実松志保
富山県地方史研究の動向
古川知明／松山充宏／尾島志保／森俊
山梨県地方史研究の動向
上野桜／西川広平／高橋修
長野県地方史研究の動向
櫻井秀雄／福島正樹／山崎
会理／田玉徳明／三石稔
◇798 (68-7) 2016.7 A5 78p 1150円
長野県における中等学校連合運動
会の成立 瀬川 大
清盛の出生伝承をめぐる一考察
(上) 石川 勝義
戦国期西上野地域領主の史的考察
—山中地域の黒沢氏について 恩田 登
真田宝物館蔵「武者揃支度心得御
沙汰書」について—真田の赤備
えをめぐって 原田 和彦
穂高古墳群と猪鹿の牧 桐原 健
書誌紹介 櫻井松夫著『信濃 古
代中世史の究明』(1)(2) 後藤 芳孝
◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊
◇160 2016.6 A5 47p
長倉牧の軽井沢比定説について
—3D地図などによる検証 江川 良武

浅間山南麓の三つの火砕流（天仁
元・弘安四・天明三） 樋口 和雄
連載講座
古文書解説講座 第151回 斎藤 洋一

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/folklore/
◇253 2016.5 B5 10p
放光庵の石地藏の文化財指定に当
たって一松本の石造物製作史解
明の糸口 木下 守
「長野県民俗の会」の先達を訪ねる
(1)一田口光一先生(上) 渡辺 宏
暦がなかったら 福澤 昭司
◇542 2016.7 B5 10p
報告 小谷村の式年雑録打ち神事
一諏訪大社御柱祭に先駆けて 太田 真理
第199回例会に参加して 中嶋 隆生
「長野県民俗の会」の先達を訪ねる
(1)一田口光一先生(中) 渡辺 宏
第200回例会発表要旨「農山村に
おける集落限界化と民俗」
集落の限界化と民俗のかかわり
一長野県民俗の会 第200回例
会にむけての問題提起 土田 拓
災害による集落の一時消滅に伴
う民具の行方 細井雄次郎
長野県西山地域の過疎化 多田井幸視

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇93 2016.7 A4 8p
特別展「豊臣から徳川へー徳川美
術館の名品で綴るー」
特別展「葵の時代ー徳川将軍家と

美濃ー」
加藤栄三・東一記念美術館 第1展
示室「加藤栄三・東一 鵜飼を
描く」、第2展示室「それぞれの
画家の心に映った それぞれの
鵜飼」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 絵画の中の生き物
たち」
古墳時代後期の環頭柄頭 三山 らさ
館蔵資料紹介 濃州方県川部村絵
図 天保9年(1838)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-cj/
◇108 2016.5 A4 4p 300円
黒鉄師の築堤力 吉川 祐子
『徳山の盆踊』刊行
◇109 2016.6 A4 4p 300円
賀茂別雷神社の米作神事 吉川 祐子
◇110 2016.7 A4 4p 300円
茅の輪くぐり&菓子“水無月” 吉川 祐子

◆古城 静岡古城研究会

〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 TEL054-639-0648 1974年創刊
◇60 2016.7 B5 110p
山城からみる森町の戦国史(1)
一太田川東岸の飯田地域 水野 茂
河津城と城ヶ平(佐ヶ野城)ー伊豆
半島東南部における対照的な二
つの城郭遺構 望月 保宏
畑ヶ谷の城郭遺構(2)
「畑ヶ谷東砦」 乗松 稔
徳川家康の懸川城攻めについて 大塚 勲

鳥羽山城について一考ー鳥羽山城
は堀尾吉晴の隠居城 高山 新司
日本の古代山城の構築主体ならび
に年代観についての寸描ー白村
江戦役から天武・持統朝までの
時間軸で考える 柳下 晃一
桶狭間の戦死者 川村 晃弘
シンポジウム「徳川家康の戦いと
城づくり」報告 編集部
城館レポート(15年) 編集部

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇453 2016.6 B5 4p 100円
6月例会レジュメ 近代日本にお
ける戦争と温泉地 高柳 友彦
2つの象山 1章 小さな世界遺産 岩田 昶
枝村史料を県立中央図書館へ寄贈 枝村 三郎
◇454 2016.7 B5 4p 100円
7月例会レジュメⅠ 明治初年に
おける西洋法思想の継受ーその
日本的受容の在り方を中心に 橋本 誠一
7月例会レジュメⅡ
近代日本国家と「国学」 小池 善之
2つの象山 2章
「松代大本営跡」訪問記 岩田 昶
「加害」と向き合ってきたヒロシ
マー在韓被爆者渡日治療広島委
員会の32年 平井 和子

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043静岡県御殿場市新橋1891-1
厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊
◇206 2016.5 B5 4p

永禄元年の今川義元判持と訴訟条
目 橋 敏夫
例会告要旨
12月例会 茶産地の生産・流通
認識と取引慣行 岡村 龍男
2月例会
天保期、渡辺金璚による三島
宿改革について 厚地 淳司
戦国大名今川氏の蔵入 渡辺 翔太
3月例会 『今川仮名目録』第一
条および第二十四条と領国の
財政 山田 剛徳
◇207 2016.7 B5 4p
「宗長日記」の「諏訪信濃守」とは
誰か 小林輝久彦
例会告要旨
3月例会 今川義忠の遠江侵入
について一家永説の批判的継
承 森田 香司
4月例会
箱根路の石畳普請と石道金 土屋比都司
戦国時代の井伊氏と今川氏
一抗争から臣従へ 小和田哲男

◆静岡県民俗学会誌

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
1977年創刊 web.thn.jp/s-folklore/
◇30 2016.3 B5 88p
平成23年度大会記念講演
海里山と生活文化の提唱 印南 敏秀
送り神行事の種々相 小杉 達
大内の民俗
例言・凡例
大内の概観 松田香代子
大内の景観と歴史伝承 大村 和男
大内の箒作り 外立ますみ
大内の伝説・昔話 佐藤 吉男
大内の嫁入りと出産・子育ての

儀礼 袴田 洋子
 靈山寺の行事と観音信仰 渡辺 好洋
 報徳運動の先駆者たち 佐藤 吉男
 民俗資料 『駿河記』『修訂駿河
 国新風土記』『駿河雑志』『駿
 河志料』『高部村誌』
 新刊紹介『子どもたちによる「送
 り神」行事—静岡県掛川市—』大嶋 善孝
 静岡県にかかわる民俗学関係文献
 目録（2011年度） 大嶋 善孝

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会
 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇145 2016.6 B5 12p
 第112回研究会 赤池、須山、和
 田各氏発表 赤池隆義氏の「老
 人介護の歴史」の概要／須山忠
 治氏の「尼子氏について」の概
 要／和田嘉夫氏の「『はきもの』
 の歴史の変遷」の概要

◆駿河 駿河郷土史研究会
 〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
 富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
 1965年創刊

◇別冊 2016.7 B5 29p
 機関誌『駿河』のあゆみ
 第一号～第七十号

◆あつた 熱田神宮宮庁
 〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇251 2016.7 A5 29p
 熱田雑集七 太田 正弘
 創祀千九百年記念造営事業の回顧
 (8) 小久保雅広

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
 TEL0569-65-2880 1966年創刊

◇101 2016.5 A5 88p 500円
 表紙 師崎左義長まつりの幟
 「まつり」の手順 村井 喜一
 「横浜のあゆみ—ヒト・モノ・マ
 チ—」展示会を見ました 内田 友明
 遺稿 吉良の仁吉—清めの井戸 内田 辰男
 内海西端の〈西岸寺〉ゆかりの願
 空超山上人 鷲津 清静
 神護寺誌物語五
 神護寺の歴代について 小林 豪峻
 豊丘小学校と私 吉村 勇
 名古屋城と篠島の石垣採石
 丁場編(2) 石橋 伊鶴
 調達金への春秋(2)

尾張藩政中期 加藤喜代吉
 西端区の神楽船祭り 服部義春／日比忠男
 幻の「師崎防空監視哨」 山下 泉
 明治の地図から学ぶきずなの会 大岩 隆
 資料紹介 内海尋常高等小学校高
 等科女子生徒が書いた明治三八
 年夏季の作文 松下 孜
 豊丘小学校沿革(記念誌より抜粋)
 伊勢だより(赤福に入っている
 “しおり”) 内田 卓男

◆年報 中世史研究 中世史研究会
 〒464-8601名古屋市千種区不老町
 名古屋大学文学部日本史学研究室気付
 TEL052-789-2228

◇41 2016.5 A5 113p 2000円
 鎌倉幕府院飯行事の完成と宗尊親
 王の將軍嗣立 桃崎有一郎
 毛利氏の覇権確立と家格上昇 川岡 勉
 富士大宮楽市令の再検討 長澤 伸樹

史料紹介 伊藤宗十郎家文書 播磨 良紀
 書評 山田貴司著『中世後期武家
 官位論』 上嶋 康裕

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫
 〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
 TEL052-935-2173 1980年創刊
 housa.city.nagoya.jp

◇92 2016.6 A4 8p
 展示室1・2 徳川美術館第5展
 示室 夏季特別展 信長・秀
 吉・家康—それぞれの天下取り
 展示室1・2 徳川美術館第1～5
 展示室 特別展 ザ・ベスト@
 トクガワ
 蓬左文庫の蔵書より
 明治四十年の山車調査 井上 善博
 表紙 青窓紀聞 水野正信編

◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円

◇583 (56-3) 2016.5 B5 8p 600円
 表紙写真のことは 新庄のはやし
 田 広島県北広島市新庄 渡辺 良正
 東京・引田の獅子舞 石川 博司
 西米良村の小川神楽印象記(上) 清水 昭男
 チベットの岩繪にみる鳥神信仰 水原 渭江
 新刊紹介 南日本の民俗芸能誌

全県編(南日本の民俗文化誌第6
 巻) 下野敏見著／尾張・三河
 の花のとう さいたま民俗文化
 研究所作成

◇584 (56-4) 2016.7 B5 8p 600円
 表紙写真の言葉 田島祇園
 福島県南会津町田島 渡辺 良正
 東京・氷川の獅子舞 石川 博司
 西米良村の小川神楽印象記(中) 清水 昭男

巫ト社会における音楽的認識 水原 渭江
 新刊紹介 東栄町の盆行事—ハネ
 コミ・手踊り・大念仏—調査報
 告書 東栄町盆踊り調査会編集
 ／徳山の盆踊り 川根本町文化
 財調査報告書 川根本町教育委
 員会編集

近畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生
 会館 TEL077-522-8369 年2520円
 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp

◇156 (40-3) 2016.7 B5 92p 584円
 《特集 観音のこころ》
 観音のこころ 佐々木悦也
 観音の里ふるさとまつり 植田 耕司
 石道寺 植田 耕司
 安念寺 植田 耕司
 思い出の一仏 高梨 純次
 観音の里のシンボルの山・己高山
 植田 耕司

観音めぐりの地図・観音めぐりの
 手引き
 新連載 大津京、万葉をうたう
 人麻呂と荒都大津京
 文と曲 林博通／画 鈴木靖将
 おもしろ近江考古学(8) 藤原宮
 の瓦(大津市石山国分遺跡)
 鳥の目巡遊(8) 宝探し 延木由起子
 近江の水をめぐる 始りの水、元
 の水 滝壺神社祭神間麗大神／
 日吉大社樹下宮霊泉・樹下の水
 森が育む(4) 東近江森の博覧会 丸橋 裕一
 茅葺きのお寺と素敵な坊主さん 奥野寿美子
 シーボルトと近江 赤尾 和美
 米相場をいち速く知らせた痕跡 眞壁 四郎
 山村から日本の色「紫」を世界へ

！ 清水 貴子
遊技焼の世界(下) 幼い寮生 吉永 太市
白鳥川の夏 吉田 栄治
シリーズふるさと遊彩(10) 瀬田
川と粟津の晴嵐 瀬田川を廻り
『近江八景』の景勝地訪ねる 田中陽一郎
歴史文書は語る 県政史料室から
(20) 幻の「坂井郡」騒動 大月 英雄
三角点の山と私(9) 眺め抜群の山
鳥羽上山 小松 千秋
東光寺山(白鹿背山) 塩川 和宏

◆戦国史と人 女風林火山

戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会
〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-11
首藤義之方 年1400円

◇58 2016.5 B5 86p

「西山家文言覚書秘傳録 織田信
長孫秀信之巻」(写本)の紹介(後
編) 編 集 局

佐々木氏郷(佐々木家の六角家
当主)と佐々木高豊(分家の京極
家当主)との交流一六角家嫡流
は義實・義秀・義郷・氏郷説を裏
付ける新出の京極家旧蔵史料 首藤 義之
滋賀県米原市の清瀧寺徳蔵院一
佐々木京極家十九代高次から二
十五代高中の彫像・肖像画・墓
についての覚書 首藤 義之

戦国史史料案内 第2回 和歌山県
橋本市向副村の織田秀信公墓所

編 集 局
戦国史読書案内 結城了悟氏著
『キリシタンになった大名』 編 集 局

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1

TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp

◇113 2016.6 A4 4p

企画展 琵琶湖文化館所蔵の名品

一彦根ゆかりの書画とやきもの

企画展 琵琶湖文化館所蔵の名品

一彦根ゆかりの書画とやきもの、テーマ展

千変万化 美し

き水の意匠、テーマ展 兜 そ

の形と美一星兜から変わり兜ま

で、テーマ展 井伊家伝来 狂

言の面と装束

彦根城下町の礫打ち 早川 駿治

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5

TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊

sigaminzoku.fc2web.com

◇633 2016.6 B5 12p 400円

電気の恩恵に預からなかったへき

地5級の山村一東近江市(旧永源

寺町)茨川 浅原 昭生

あやかりの文化 英米日の大衆音

楽と文学の波及(1) 長谷川博美

近江の盆行事

一昭和四四年の聞き書き 菅沼晃次郎

『女性ノート』にみられる戦時中

の女子学生の意識 大喜多紀明

電波迷信の話 大喜多紀明

◇634 2016.7 B5 12p 400円

私と日本刀 菅沼 延之

あやかりの文化 英米日の大衆音

楽と文学の波及(2) 長谷川博美

赤と「嫌み」の文化(2) 長谷川博美

戦時下(第二次大戦)での歌の思い

出一山本悦子さんの資料より 大喜多紀明

李朝の糸巻きについて 粕渕 宏昭

木地屋のふるさと 君ヶ畑の民俗

(1)一東近江市永源寺町 菅沼晃次郎

◆宇治市歴史資料館年報

〒611-0023京都府宇治市折居台1-1

TEL0774-39-9260

◇2014 2016.3 B5 44p

史料紹介『奈良鉄道名勝案内』(上)

小嶋正亮／岡本京子

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34

TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇135 2016.7 B5 266p

黄檗画像画師・補遺(2)

一初期の画像画師・補遺 錦織 亮介

東京都台東区世尊寺所蔵・卓峰道

秀筆「仏涅槃図」について

藤元裕二／藤元晶子

隠元禅師語録について(8) 大槻 幹郎

出羽の黄檗廃絶寺院について 石渡 吉彦

淀藩主稻葉家の墓碑考察 秋元 茂陽

新資料紹介 黄連忠氏著「天童密

雲圓悟禅師語録及其禅学思想研

究」 野川 博之

黄檗の檀越 青木重兼 田中 智誠

人物書誌大系『河口慧海』補遺(1)

高山 龍三

蘇州《曲園》訪問記 田中 昭三

黄檗参学記(和訳)一隠元禅師ゆか

りの寺院を巡って

楊桂香・林正子 訳／田中昭三 編

黄檗文化と魏氏楽譜の関連につい

て 漆明鏡著「《魏氏楽譜》的

楽器、記譜法和宮調」の紹介を

兼ねて 楊 桂香

安南と日本に通行する明の魏之琰の

事跡 林 観潮

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字

竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊

◇21 2015.3 A4 20p

調査・研究報告編(23) 七月一九

日付、斎村左兵衛尉宛、細川幽

斎書状について 福島 克彦

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084大阪府枚方市香里ヶ丘6-4-9

上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/

◇84 2016.7 A5 64p 1000円

地震災害お見舞い申しあげます 内田 正俊

2015年・古代史総括 森岡 秀人

直弧文研究史余話(3) 中村 修

美濃国席田郡建郡の必然性 尾関 章

百済観音の飛鳥時代(7) 百済観

音と浄土1(百済観音が阿弥陀三

尊の脇侍であった可能性1) 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入

西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊

◇865 (86-5) 2016.6 A5 32p 916円

「忍性の晩年と遺命」そして「石

工心阿を考える」(1) 八田 洋子

高野山奥之院出土金銅製宝篋印塔

の被供養者 南保又二郎につい

て 木下 浩良

日本の塔百選(45)

阿波 鶴林寺三重塔 中西 亨

京都市西京区下津林の「蓮生塔」加藤 繁生

第1017回例会 北摂・能勢町の仏

像と石造美術 松永 修輔

新刊紹介

寺本健三著『風水説研究』

◇866 (86-6) 2016.7 A5 34p 916円
「忍性の晩年と遺命」そして「石
工心阿を考える」(2)(上) 八田 洋子
日本の塔百選(46)
薬王寺 瑜祇塔 中西 亨
和歌山県橋本市小原田の山本治氏
宅の正平二十三年五輪塔 木下 浩良
第1018回例会 茨城県水戸市他の
文化財と鹿島神宮参拝 品角阿止美
第1018回例会後会
桜川市の文化財 品角阿止美

◆史談福智山 福知山史談会
〒620-0883京都府福知山市本堀1430
中村邦夫方 TEL0773-22-2737

◇766 2016.1 B5 4p
庵我の歴史と字名(地籍図)につい
て(安井) 河波 司

◇767 2016.2 B5 6p
平成28年度 総会報告
記念講演「江戸時代の由良川水運」
丹後郷土資料館学芸員・吉野健
一先生 (文責・岡垣)
書斎訪問記
塩見昭吾先生を訪ねる 岡垣 清己
27年度 古文書部総括
古文書部・佐古田廣文

◇768 2016.3 B5 4p
京町住人、彫物師・安井(相野)安
右エ門について 塩見 昭吾
狼が出た 大槻 伸

◇769 2016.4 B5 4p
春の歴史散歩 川北～報恩寺～三
坂峠を歩く 梅垣 秀基
元伊勢内宮・皇大神社あれこれ(1)
岡垣 清己

◇770 2016.5 B5 6p
元伊勢外宮豊受大神社の御師(お

し)について 佐古田廣文
深泥(みぞろ)一人百首 尾松 克己

◇771 2016.6 B5 4p
「細身峠」と「生野の里」「生野小
町の里」 寺本 吉勝
「尾垂木龍(おたるきりゅう)」に
ついて 塩見 昭吾
コラム
昌綱の茄子の書画について 大槻 伸

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1101京都市西京区大枝北沓掛町2-8-
20 入江成治方 TEL075-332-2107
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/

◇54 2016.6 A4 8p
2016年度総会・講演会報告／第15
回総会〈議事録〉
講演1(要旨) 上杉本洛中洛外図
屏風と町名 川島將生氏
講演2(要旨)「京都」とは何か
井上満郎氏
京都地名研究会 第43回地名フォ
ーラム(一般公開) 大野克二の
地名検証シリーズ 京都市域の
主要地名検証(大野克二)、私の
生まれ育った「紀伊郡伏見郷の
歴史」～不死身の伏見 そこに
は大池があった(酒井源弘)、プ
ロジェクトワーク「日本の地名」
実践報告(山口均)

北山の山名(3) 小寺 慶昭

◆土 車 古代学研究所だより
〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル
菱屋町48 TEL075-252-3000 kodaigaku.org

◇129 2016.6 B5 8p
私家集を読む楽しさ 中 周子

古代における文化情報の伝播を考
える 外村 中

歴史ニュースを読み解く
淡路島の銅鐸大量出土の謎解き 森岡 秀人
指月伏見城の発掘調査 山田 邦和
随想九 日記帳 角田 文衛
上田正昭先生 逝去 山崎 千春
古代学協会研究報告第12輯 紀伝
道研究史料集—文武朝～光孝朝

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒662-8505兵庫県西宮市岡田山4-1 神戸女
学院大学文学部 河西秀哉研究室気付
2008年創刊 notre-critique.com

◇9 2016.5 A5 85p 1000円
『国のすがた』が示す姿—下田歌
子の教科書「編纂」とその意味 谷川 穰
戦後日本型社会保障システムの果
てに—一九七〇年代の大阪住吉
における「まちづくり」を事例
として 矢野 亮
インタビュー 全軍労OBが見た
米軍施政下の「RYUKYUS」と
基地—宮城邦治・豊光氏に聞く 成田 千尋

◆洛北史学 洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5259 1999年創刊

◇18 2016.6 B5 155p
戦国大名分国における領域秩序形
成の過程—北条分国を例として 村井 良介
「国衙軍制」論の再検討—十世紀

末から十一世紀初頭における大
和国の検断事例を通じて 張 思捷

史料紹介 池尻田中家文書「河州
狭山池水掛り口川筋土砂改之義
二付 鈴木飛驒守殿并岡部内膳
正殿家来江往答之扣」 島本 多敬
書 評
木下昌規著『戦国期足利將軍家
の権力構造』 川口 成人
『出使日記の時代—清末の中国
と外交—』書評—近代日本に
おける「出使日記」現象の不
在に関して 福岡万里子
白川哲夫著『「戦没者慰霊」と
近代日本—殉難者と護国神社
の成立史—』 川瀬 貴也
新刊紹介
蓑輪顕量著『日本仏教史』 井上 真美
倉地克直著『日本歴史 私の最
新講義14「生きること」の歴
史学』 棟田 成紹
〈大会・例会報告要旨〉
第17回洛北史学会大会 大会テー
マ「権力・地域と平和」
報 告
戦国大名分国における領域秩
序形成の過程—北条分国を
例として 村井 良介
第17回洛北史学会定例会
泰地翔大氏「延暦寺における門
跡権力の成立」
豊田早苗氏「賀茂詣・春日詣小
考—摂関神社参詣の考察から」

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇342 2016.6 B5 12p
和歌山市山口地区 産廃最終処分
場建設反対運動に寄せて 栗本敬一郎
長滝の中世史(3) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(19) 中野 恒一
和泉の中世城郭(42) 井田 寿邦
◇343 2016.7 B5 12p
和泉の国御家人はなぜ悪党になっ
たか？(上) 堀内 和明
長滝の中世史(4) 井田 寿邦
滝畑報告(2) 事務局(HN)

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇382 (33-6) 2016.6 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(9)
「神社の守護神 狛犬」(2) 和久 敦也
平成28年5月例会報告(第357回)
「知足院関白藤原忠実の言談」
一院政期貴紳の説話世界 田中
宗博氏 (朝山)
平成28年 春の見学会「宝永・
安政津波の大阪の被災地を訪ね
る」案内人：白須一信・和久
敦也氏 (井川)

◇383 (33-7) 2016.7 B5 8円
巻頭言「神のおやしろのこと」(10)
「神社の守護神 狛犬」(3) 和久 敦也
平成28年6月例会報告(358)「歴
史における『いれずみ』の効用」
一日本とベトナムを比べる 片
倉穰氏 (寺井)

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会

〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇59 2016.5 A4 8p
貝塚寺内町地域にのこる環濠跡
貝塚市指定文化財 史跡 感田
神社濠(貝塚寺内町環濠跡)／北
境川／清水川
孝恩寺の仏像―菩薩(4) 普賢菩
薩 重要文化財 木造普賢菩薩
立像 1軀
水間街道沿いの道しるべ その2
水間街道道標4
古文書をひも解く ほっかんさん
の江戸参府記～序章／古文書を
読む会
古文書講座―市内にのこる身近な
古文書「江戸時代の農作物と
肥料」
貝塚市歴史展示館(ふるさと 知っ
とこ！館)に行ってみませんか。

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇799 2016.6 A4 8p 300円
再興された大和の仏像 神田 雅章
大和における西大寺流律宗集団 佐藤 亜聖

◇800 2016.7 A4 10p 300円
平安宮今昔 猪熊 兼勝
鳥羽・伏見の史跡を訪ねて 泉森 皎
『近畿文化』八〇〇号発刊に際して
付録『近畿文化通信』第1號
昭和24年10月1日 B5・2頁

◆左海民俗 堺民俗会
〒593-8307堺市西区平岡町268-20
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円

◇151 2016.5 B5 8p
例会「三田市散策」の回想 下谷 佐吉
東大阪市日下周辺散策例会の思い
出 生駒 道弘
大学教師あれこれ(3)
大学自治の問題点 生駒 道弘
実験民俗学 葉書の木の葉っぱに
字が書けるか 生駒 道弘
10月例会報告 熊野古道を歩く
(12)(発心門王子～本宮大社) 佐原 浩二
11月例会報告 谷山池から松尾寺、
久保惣美術館を巡る 藤原重夫／山崎琢磨
12月例会報告
泉州信太の森周辺を巡る 西井 清和
2016年1月例会報告
春日大社初詣報告 植田 敏義
2016年2月例会報告 つまようじ
資料室・釣瓶寿司「弥助」・割
箸の話(バスツアー) 川村 淳二

◆除痘館記念資料室だより
洪庵記念会除痘館記念資料室
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊

◇8 2016.6 A4 8p
大坂除痘館の種痘引札
一嘉永2年(1849)酉11月発行 (A)
緒方洪庵と大坂の与力たち 古西 義麿
緒方洪庵の長女、エウジェニア
について 川上 潤
種痘の史跡を訪ねて(5) 富嘉川
万年橋と「桑田立斎種痘所跡」
の碑 米田 該典
追悼！
緒方惟之氏と除痘館記念資料室
緒方 高志
加藤四郎先生 米田 該典
梅溪昇先生 米田 該典

大坂除痘館の接種謝礼と分苗謝礼
浅井 允晶
司馬遼太郎氏における緒方洪庵 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcnip/kojyo_tomonokai/

◇570 2016.6 B5 24p
5月・第631回例会の報告 真田幸
村ゆかりの高野山と九度山を訪
ねて 担当幹事：平川大輔・山
口猛氏 平川 大輔
近くの山城「吉川城」へ 水品 弘樹
京都北山の一乗寺山城と雲母坂城
を探访(承前) 川端 義憲
別冊 平成28(2016)年6月5日(第
632回) 京都の史跡で巡る 秀
吉の晩年とその後 資料

◇571 2016.7 B5 26p
6月・第632回例会の報告 現地集
合 京都の史跡で巡る 秀吉の
晩年とその後 担当幹事：小川
実・木下修二氏 木下 修二
山城一乗寺山城
付 雲母坂城、宮内少輔城 高菅 純子
常陸の佐竹氏居城を訪ねて 坂本 昇
別冊 第633回 平成28(2016)年7
月10日 伊勢松坂城と城下町を
訪ねて 資料

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇341 2016.6 B5 18p
遺跡からみた雄略朝から継体朝の
ヤマト 坂 靖

滋賀県栗東市の史跡を訪ねる 石塚 一郎
第28回定期総会報告
読書室『日野昭論文集Ⅰ 日本
書紀と古代の仏教』 水谷 千秋
◇342 2016.7 B5 18p
六世紀の北九州とヤマト政権一九
州首長層の変容からみたヤマト
王権の動向 宇野 慎敏
馬見丘陵公園と佐味田宝塚古墳を
訪ねる 小川 滋

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所
〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊
◇28 2016.7 A5 343p
《九州の民俗》
人吉藩の水陸連携魚輸送
一球磨川舟運から椎葉山へ 胡桃沢勘司
南九州における土人形の由来と継
承—佐土原人形と帖佐人形 網 伸也
宮崎県・大分県のウミガメの民俗
—利用・信仰習俗と保護をめぐ
る地域的差異と時代的变化 藤井 弘章
大分県佐伯市沖黒島におけるカワ
ウの糞採取習俗 藤井弘章／牧野厚史
熊本時代の大塚磨について 井田 泰人
書評と紹介
田中宣一著『名づけの民俗学—
地名・人名はどう命名されて
きたか』 辻 貴志
近畿大学構内遺跡学術調査の紹
介(3) 藤田 義成
民俗学研究所第27回公開講演会
考古学からみた江戸の葬送習俗
(講演要旨) 谷川 章雄

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家

1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇57 2016.7 B5 8p
石田三成と嶋左近清興（関東地区
例会によせて） 眞野 幹也
家系研究協議会 平成28年度 総
会及び春の例会報告 春の例会
「真田氏と望月一族」 本会会長
：宝賀寿男氏 （馬原）
珍名さんいらっしゃい(50) 眞野 幹也

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸
大学文学部内 TEL078-803-5565 年1000円
siryo-net.jp
◇82 2016.5 A4 12p
巻頭言 津波記念碑を活かした防
災活動—各地の自主防災組織を
訪ねて 松下 正和
速報「2016熊本地震」に関する
歴史資料ネットワークの対応に
ついて 歴史資料ネットワーク事務局
関東・東北豪雨災害 資料レスキ
ュー私記(2・完) 高橋 修
茨城大学人文学部地域史シンポジ
ウム「自然災害に学ぶ茨城の歴
史」に参加して 加藤 明恵
広島県行政文書・古文書保存管理
講習会でのワークショップ 吉原 大志

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇70 2016.7 B5 8p
摂津の薦 川畑 勝久
卑弥呼は誰なのか

一音韻史から考える 今井 康雄
伊勢神宮の神宝『御鏡』二面
荒井神社に下賜される 廣瀬 明正

◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇45 2016.7 B5 8p
特別展示「西宮町人の生活と文化
—江戸時代の日記を読み解く—」
衛藤 彩子
さくらFMウォーク〜ラジオから
発信する新しい野外講座 俵谷 和子

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇580 2016.7 B5 8p
尼崎郷土史研究会 歴史散歩「鳴
尾の地を訪ねて」 杉谷 俊一
「西宮」保存箱、玉手箱(31)—情
報公開課資料より 西宮少年合
唱団 豊田 みか
西宮神社狛犬

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇316 (55-3) 2016.6 A5 57p 600円
《特集 石造遺品から読む地域史》
尼崎戎神社の徳川家家紋入り石燈
籠について 村上 昭彦
姫路城石垣普請研究始め—近世
・鬘櫛山石切丁場跡調査概要報
告 増田 行雄
兵庫県南部花崗岩製宝篋印塔の隅

飾斜度 中村 和男
六甲山登山路名称考(2)
—落ちこぼれ集・山仲間 阪下 博也
江戸川柳による「平家物語」(2) 石川 道子
「石川道子の古文書楽講座」古文
書初心者向け冊子、電子ブック
作製
わが神職累代の記(14) 自分のこ
と(2) 「村の神官」—宮司就任、
神道青年会、そして著述。 上村 武男
神戸・阪神歴史講座 第15回(尼
崎歴史講座 第12回) 地域を
記録する写真史料
2016年度 歴史資料ネットワーク
総会シンポジウム 資料保全と
活用の長い道のり—熊本地震に
よせて
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事 大國正美／有吉康德

◆みかげ民俗 みかげ民俗研究会
〒654-0152神戸市須磨区東落合3-4-31
藪元晶方 1974年創刊
◇9 2016.7 B5 70p
賀茂の神と水上輸送のこと—尼崎
の長渚御厨と高槻の御島鴨社
(河野氏)を中心に 田中 久夫
酒糟による原皮の毛抜き(脱毛)と
裏漣き実務及び毛抜き(脱毛)実
験 永瀬 康博
大阪府貝塚市脇浜浦の八大龍王が
和泉葛城山へ勧請された理由 植野加代子
書籍紹介 酒井卯作編『柳田国男
南島旅行記』 田中 久夫

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp

◇131 2016.7 B5 68p
 崇神天皇が天照大神を遷祀された
 史的意義 所 功
 三輪流神道と天照大神 伊藤 聡
 六・七世紀における三輪氏の氏族
 構造 加藤 謙吉
 大神神社摂社檜原神社三ッ鳥居に
 ついて 井上 説子
 本居宣長雅文軸奉獻の記 永井 良樹
 第四十四回「神道国際友好会宗教
 事情視察研修」メキシコ合衆
 国・マヤ古典期の宗教都市を訪
 問して 高山 裕宇

◆紀南・地名と風土研究会会報
 〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
 桑原康宏方 TEL0739-22-0483
 年2000円 1985年創刊

◇56 2016.7 B5 20p
 地名から読む長野村 浅里耕一郎
 紀南の石仏 落ち穂拾い 堀 敏実
 地名は減災への一里塚 田中 弘倫
 ノート：続、熊野速玉大社・神倉
 神社の両部鳥居を中心に一明治
 ～昭和の古写真・絵葉書をもと
 に 桑原 康宏

◆熊野 紀南文化財研究会
 〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
 濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
 年3000円 1969年創刊

◇150 2016.5 A5 61p
 中世の熊野参詣記に見える水難事
 故 堀 純一郎
 『熊野古道をゆくⅢ—私の備忘録』
 (1) 箸折峠・牛馬童子像の由
 来について 宮本 恵司
 宮本常一『熊野紀行』について 濱岸 宏一

田辺商業学校『忠魂碑』の移転と
 その周辺 河瀬 健太
 『闘難神社学術調査報告書』の概
 要について 濱岸 宏一

◆熊野学研究 国際熊野学会
 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
 教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
 年3000円 2010年創刊
 〒168-0064東京都杉並区永福1-9-1
 明治大学和泉校舎 研究棟事務室気付
 TEL03-5300-1156

◇4 2016.7 A5 70p
 霊山金峯山と霊場熊野
 —その成立と展開 時枝 務
 熊野御燈祭の発祥と変遷
 —聖火の動きに着目して 山本 殖生
 田楽に伝わる詞章の考察 今泉 宗男
 往生とは何か—一遍と親鸞 金山 秋男
 訃報 小倉肇先生を偲ぶ 三石 学

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
 新宮市役所商工観光課 山本殖生
 TEL0735-23-3333 年3000円

◇202 2016.7 B5 2p
 総会報告／新役員紹介／新宮城下
 町遺跡発掘調査最新情報／『熊
 野参詣調査報告書』販売中／『熊
 野からケルトの島』発刊

◆国際熊野学会会報
 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮
 市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
 年3000円 2005年創刊

◇25 2016.5 B5 4p
 西行の那智詠—水の熊野 中西 満義
 国際熊野学会東京例会 in 奥三河を

振り返り 今泉 宗男

中国・四国

◆郷土石見
 〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
 児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊

◇101 2016.5 A5 136p 1200円
 表紙写真 三瓶草原の火入れ
 (大田市三瓶町) 文・写真 中村唯史
 特報 石見銀山料の福祉
 —視覚障害者への救済 森脇 登
 浜田県大参事藤原茂親と島根県参
 事境二郎—明治10年の「太政官
 指令」を再び考える 杉原 隆
 明治・大正期における波根地域の
 交通・運輸(後) 池田 誠一
 比礼振山と古代信仰の姿 長尾 英明
 柿本人麻呂と万葉集(3)
 —その歴史学的考察 安達 肇
 鷗外と「石見郷友会雑誌」 岩町 功
 多胡辰敬へのアプローチの成果と
 敏斎本発見の経緯—敏斎本に見
 る教訓状の教への現代性 中山 光夫
 旧津和野町の歴史と中世の山城 岩崎 健
 町から村から
 「二川読本」復刻版に思う 中川 欣吾
 戦時下の寮歌学習
 —山崎巖先生を想う 岩町 功
 なつかしの浜田市立水族館 森脇 晋平
 東仙道の生物 宮本 巖
 島根県中世史研究会・島根県近世
 史研究会合同研究会について 山根 正明

◆大社の史話 大社史話会
 〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
 稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp

◇187 2016.6 B5 46p

出雲大社の建造物シリーズ(3)
 出雲大社境外社殿の保存修理工
 事について(1)—史料を中心と
 した建物の変遷
 文化財建造物保存技術協会
 国登録文化財となった日の出館の
 玄関棟・明治棟 編集部
 国引き神話の「宇波の折絶」は何
 処か 馬庭 孝司
 コラム 「口げんか」は罰金10万
 円—四五〇年前の杵築町の一断
 片 山崎 裕二
 一登山者の探した鷯峠・鷯浦山境
 石碑(2) 田中 貞利
 大社宮島鉄道—かつて大社から宮
 島まで鉄路で結ぶ計画があった
 荒木八州雄
 「忘れられた女流俳人」出雲のし
 げ女 金築 倫子
 消えゆくもの(51)
 —出雲弁(灘ことば) 春木 芳子
 神門通り紙芝居 あらすじ
 市場美里／宮本理紗子
 「オロチ神話の現郷を訪ねる会」
 参加者募集 研修部
 日置風水の紀行文『隠岐のすさび』
 を読む(13) 山崎 隆司
 手銭記念館の四季 2016出雲文化
 活用プロジェクト関連事業 連
 続講座「古典への招待—古筆と
 和歌を中心に—」について 佐々木杏里
 企画展 出雲の武将 塩冶判官高
 貞—その実像と虚像—
 出雲弥生の森博物館
 企画展 「いわみもの—暮らしを
 形づくる石見のやきもの」
 古代出雲歴史博物館

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇59 2016.7 A4 10p
明石掃部の娘 大西 泰正
平成28年度宇喜多家史談会総会記
念講演(前号継承) 信長のみた
直家と秀吉が育てた秀家(後編)
皆木としあき
物語直家記伝 西大寺辺の城
第30回 自立(7) 山重十五郎
宇喜多氏関連遺跡の写真展(8) 津下 誠治
第七回うきだ振興まつり 津下 誠治

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田
大学文学部 紙屋研究室内
okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/
◇79 2016.6 B5 10p
〈第42回全体会の記録〉
報告要旨
雁之間詰大名の構成と機能 牧野 望実
牧野望実氏報告参加記 山本 英貴
雁之間詰大名の性格規定をどのよ
うにすべきか?—牧野報告を聞
いて 竹村 到

◆岡山人俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇216 2016.5 B5 12p
平成28年度総会・研究発表大会報
告 平成28年度研究発表大会
発表要旨
赤松啓介と物質文化—民俗学と
考古学の連携を考え寝るため

に 角南聡一郎
佐藤清明と柳田國男 木下 浩
桃太郎はなぜ、きび団子を食べ
ないのか 山本 美香
国を分ける行基 小嶋 博巳

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL086-233-2505
◇142 2016.6 A5 14p
『保守的・伝統的教育観』への回帰
を 森 靖喜
上京して感じた、第二の故郷、岡
山 川畑 拓也
岡山の人物 浦上宗景 乗岡 実
岡山の自然 塩釜の冷泉
真庭市蒜山振興局地域振興課
岡山の文化財 津山文化センター
高山 昭彦

わが町・わが村の自慢

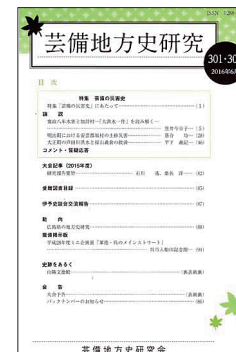
河原邸(岡山市北区御津)
ふるさとの思い出
鋤崎八幡神社の秋祭り(高梁市)
良寛さま 森石 武士

◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇301・302 2016.6 A5 94p 600円
《特集 芸備の災害史》
特集「芸備の災害史」にあたって
寛政八年水害と加計村
—「大洪水一件」を読み解く 笠井今日子
明治期における安芸郡坂村の土砂
災害 落合 功
大正期の芦田川洪水と福山養倉の
救済 平下 義記

コメント・質疑応答

大会記事(2015年度)研究報告要旨
青景隆著の派遣に見る大内氏の
備後国支配 石川 遙
四国出兵前の伊予の状況
—芸土予提携(入魂)を軸に 桑名 洋一
伊予史談会交流報告 石田 雅春
伊予史談会交流報告 報告要旨
「南北朝期～室町初期における
小早川氏の海上進出」 天野 葉子
広島県の地方史研究
芸備掲示板 平成28年度ミニ企画
展「軍港・呉のメインストリー
ト」 呉市入船山記念館
史跡をあるく 頼山陽文徳殿
文・写真 伊藤公一



* 本誌「後記」(p.58) 参照。

◆備陽史研究 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 1982年創刊
bingo-history.net
◇24 2016.5 A4 69p
備後檜崎氏について 田口 義之
福山城下町建設前後の福山西部の
変遷 瀬良 泰三
福山城本丸御殿の実態について

—御殿復元を試みる 田中 伸治
南北朝期に於ける杉原惣領家の交
替について 木下 和司
福山市土井の塚古墳測量調査報告
書 山口 哲晶
東海道五十三次一人歩き
(四日市から坂下宿) 岡田宏一郎

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇190 2016.6 A4 26p
海老城跡の発見 田口 義之
山手銀山城測量調査報告／中世石
造物の調査報告
地形から吉津川の成立を検証す
る(2)—堀としての吉津川 瀬良 泰三
備後百景 春霞の町・加茂町 山口 哲晶
古墳講座 指定文化財が語る備後
の歴史(1)(前) 網本 善光
田口義之の備後山城50選(5) 南北
朝時代の古戦場 亀寿山城跡
「一石一人の法則」と椋浦 峯松 俊彦
近世福山の歴史講座
福山城下町(6) 高木 康彦
郷土探訪 「松永市」が「福山市」
と合併して50周年に想う 岡田宏一郎
長者町の語源 根岸 尚克
大分便り あさが来た、大分に娘
婿が来た 後藤 匡史
辻堂百景(7)
福山市柳津町「唐津堂」 秋山 由実
彦根の山城 荒神山 末森 清司

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊

◇99 2016.4 A4 12p
「堀田家文書」をひも解く(3) 佐々木上木屋、畠中家、堀田家と三家の関係について 中畑 和彦
近世後期、三次町における富籤興行について(2) 立畑 春夫
三次盆地の前方後円墳(10)
上海第二号古墳一調査報告 加藤 光臣
「平成27年度三次市歴史講演会」開催される
「明治近代国家の成立を探る」を聴講して 佐藤 功

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
鈴木方 年3600円

◇303 2016.6 B5 12p 100円
末近信賀公を思う 宮原 幸司
隆景公の影を慕いて(完結編)
四神相応／講演草稿 結語…利休の言葉 福岡 幸司
三原と渡り鳥(完結編) 三好 邦範
歴史に学ぶ野生生物との共存

現代猪鹿垣(ししがき)考(1) 行長 啓三

◇304 2016.7 B5 12p 100円
遠めがね 大坪 一風
創立25周年記念式典 記念式典・平成28年度総会並びに記念講演会報告 鈴木 健次
歴史に学ぶ野生生物との共存
現代猪鹿垣(ししがき)考(2) 行長 啓三
謎の古石塔 大谷 和宏

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会
〒753-0083山口市後河原150-1
山口県文書館内 ℡083-924-2116
1954年創刊 www.ysflh.jp
◇115 2016.6 A5 104p

泰雲寺と間田大方 小川 國治
朝鮮通信使の通航における宰判の役割 吉田 智史
山口城の外郭、内陸側の防備について 桑原 邦彦
周防大島の佐連山と伊崎山にあった聴測照射所 工藤 洋三
陶晴賢の改名時期について 魚屋 翔平
新出史料 洪浩然の扁額 町田 一仁
「安芸国人吉川氏の城と館」を拝聴して 原田 史子
流行正月・仮作正月 金谷 匡人
新刊紹介 池田善文著『長登銅山跡—長門に眠る日本最古の古代銅山—』 森田 孝一
発表要旨 第123回研究大会

大内氏譜牒の京都淵源と興隆寺別本—《聖明王ハズシ》という見失われた構図の再発見 北川 健
謎のクルス印について 石川 敦彦
寛政・文化期北浦地域への九州鯨組の入漁事情 末田 智樹
近代国家形成過程に関する検定
教科書記述の比較分析 田口 由香
重盛五六の大浜—一国社会主義 布引 敏雄

◆史窓 徳島地方史研究会
〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井1071 金原祐樹方 ℡088-674-2806

◇46 2016.3 A5 100p 1389円
寺沢六右衛門—近世前期阿波の山請と分一 町田 哲
板東俘虜収容所の経済構造とドイツ社会との関係に関する一考察 高田 美穂

養子藩主の祖先祭祀
一万年山墓所をめぐって 桑原 恵
大原吞舟《鹿図》について 小川 裕久

「第66回(2015年度)地方史研究協議会大会」に参加して 松下 師一
「四国地域史研究連絡協議会 第8回 高知大会」に参加して 松下 師一
徳島県地方史研究文献目録(2014年10月～2015年9月)

◆徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 ℡088-668-2544
www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp

◇6 2016.7 A4 24p *事業報告のみ

◆徳島県立博物館年報
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 ℡088-668-3636
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇25 2016.7 A4 96p *事業報告のみ

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園 ℡088-668-3636 1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇103 2016.6 A4 8p
館蔵品紹介 刷り物『伊勢物語佚文』—屋代弘賢のお年玉 大橋 俊雄
情報ボックス たくさんの牛玉宝 庄武 憲子
印が残されていました！

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知県高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 ℡088-875-6671 1984年創刊

◇186 2016.5 B5 60p
表紙説明 秦泉寺廃寺跡発掘調査(中秦泉寺) 松下 政司
秦における昔の娯楽と慣習 虫送り(昭和41年発行『秦村誌』から) 原田 英祐
東洋町から

謎の私年号 松本 紀郎
近藤勇の子孫 岩崎 義郎
高松のお部屋さん 瀬戸 光
「ゴンドラの歌」 山本 孝男
野口雨情作詞の童話など(4) 溝渕 匠
古記録に見る諸事(2)

遊行上人来る 鍋島 静一
寺田寅彦などの科学する心を考える 広谷喜十郎
龍馬の剣術修行と千葉佐那(4) 岩崎 義郎
七つ湖、北山スカイライン、三谷

の観音さま 大岸由起子
長刀(なぎなた)についての補遺 原田 英祐
“神”について想う 笹原 保博
終戦前後、三人の帰郷者 挿話 千頭 将宏
秦・史跡めぐり余滴(18)—トウマ (松本)
吉野山行(1) 楠瀬 豊子
秦・史跡めぐり余滴(19)
一竺(ちく)の木 (松本)

山の神様と仏様(1) 松本 紀郎
直樹の刀 楠瀬 豊子
戦史(28) 小野田寛郎の生涯—秘匿された財宝に翻弄された 毛利 俊男
曲がり かど(「こうち童話 第91集」から) 永野美智子

平成28年2月15日・例会にて
私のひとこと (文責・鍋島)

「片岡健吉と自由民権運動①」土佐史談会副会長 公文豪(秦ふれあいセンター、高知市生涯学習課主催「歴史講座」資料 平27.12.5)
岡村庄造氏拓本集から(37)

九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハウス3階 ℡092-643-7075 年5400円

1979年創刊
◇129 2016.5 A5 184p 1250円
プロとアマチュア 井上 筑前
時事古論 第3回 卑弥呼の宮殿は、
どこにあったか 安本 美典
「邪馬台国全国大会 in 福岡」が開
催される
〈特集 邪馬台国全国大会 in 福岡〉
邪馬台国時代の久留米 白木 守
東アジアと倭の政治 高島 忠平
考古学からみて邪馬台国大和説は
成り立つか？ 関川 尚功
卑弥呼の墓は、すでに、発掘され
ている！ 福岡県平原王墓に、
注目せよ 安本 美典
考古学最前線レポート 「庚寅銘
大刀」発見と検討の過程 元岡
古墳群 G-6号墳発掘調査報告書
大塚 紀宣
考古学入門(3) 甕棺墓(上) 澤田 康夫
物部氏と尾張氏の系譜～上代古典
の神・氏族・自然～(2) 筑紫の
自然と神々 志村 裕子
ブッダへの道(15)一法顕が見た五
世紀初頭のアジア 河村 哲夫
西日本新聞朝刊 2016年3月2日付
掲載 糸島 最古級のすずり～
弥生後期「倭人伝」記事裏づけ
三雲・井原遺跡
オトナ女子のコラム
晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり
書 評
『ヒトと犬がネアンデルタール
人を絶滅させた』著者 バッ
ト・シップマン／河合信和監
訳・柴田譲治訳 河村 哲夫
『神社が語る 古代12氏族の正体』
著者 関裕二 山田 真也

裂田溝を歩く 森本 保孝
◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇173 2016.6 B5 84p
将軍偏諱とその認知
一相良義陽の事例から 小久保嘉紀
第一次世界大戦前における議員外
交の萌芽と帝国議会―列国会議
同盟(IPU)日本議員団に関する
基礎研究 伊東かおり
憲政常道期の貴族院議長・徳川家
達 原口 大輔
◇174 2016.9 B5 69p
日本律令国家の儀礼体系の成立と
蕃国・夷狄 渡邊 誠
中世の山口祇園会と京都祇園会
一大内氏の在京をめぐる 河内 将芳
戒厳令と太平洋戦争期の陸軍 官田 光史
◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇206 2016.6 B5 20p
木造地藏菩薩坐像 志佐 惲彦
唐津城築城の謎を解く(2)―唐津
城跡本丸文化財調査の成果から
坂井 清春
戦後七〇年郷土史の視点 肥前松
浦を西の焼物大国にした朝鮮陶
工の貢献と百婆仙(下) 中里 紀元
原田伊予と天草島原の乱―原田氏
の流転と唐津藩の行方(1) 寺村 朋輝
九州における石刃技法研究の幕開
け磯道石刃剥離技法 堀川 義英

春の史談会旅行
熊本・玉名・山鹿を訪ねて 松本 和典
古代から明日に繋ぐ 武寧王陵出
現(5)―加唐島から百済二五代
王へ 武寧王陵出現を検証する
熊本 典宏
「松浦湯」、諸相に見る風景賞翫 田島 龍太
◆浜木綿 五島文化協会
〒853-0052長崎県五島市松山町604-10
筑田俊夫方 TEL0559-74-2667
◇101 2016.5 A5 140p
調査報告(3) 五島における海軍
施設について 深尾 裕之
八十五爺の師走・正月
一元教師の哀歓 松原 剛
「待てば」 石田ちとえ
忘れられた三井楽弁「じゃんがま」
の風景 櫻井 隆
一〇〇年振りの高野山詣で一曾祖
母・祖父の足跡と生涯をたどる
内海 紀雄
「ふるさと五島の宝と課題」をみ
んなのものに(下) 片山 圭弘
五島を通った遣唐使(4)―天平勝
宝の遣唐使と天平宝字の迎入唐
大使使 櫻井 隆
◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇149 2016.6 B5 128p
表紙写真解説 鉦と入鼓の人数
枕崎市東鹿籠の太鼓踊(鉦1人・
入鼓1人が特色) 所崎 平
ちよっと昔の食生活としだいに消
えゆく民具 牧島 知子

「鹿児島ぶり」を探る 所崎 平
現在の宝満神社における赤米栽培
と習俗 石堂 次美
鼻ストレッチ
付・私の長寿法(生活習慣) 牧 民郎
出水の見請(ちごもうし) 松原 武実
人名と地名の差別性 先田 光演
徳之島井之川島口の位置資料覚書
(1) 本田 碩孝
資料 トカラ列島の「里芋・田芋
の栽培と食法、儀礼」 下野 敏見
胎内くぐり考 森田 清美
霧島修験 愛甲家文書「異賊調伏
御祈禱日帳」読み解き(第五回)
森田 清美
資料 安永二年 次渡日帳
川邊郷 前床重治・編
みんぞく・かわらばん
花・ハナ／フネ(舟・槽)／
うまいのに、米の飯・魚 所崎 平
発砲スチロールのトレイ 牧 民郎
◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇214 2016.5 B5 8p
5・6月定例会レジュメ 来間泰男
著『人頭税はなかった』につい
て 下地 和宏
3月定例会のまとめ 戦争遺跡の
調査・報告をおえて 久貝 弥嗣
第41回定期総会開かれる 事務局
『宮古島市総合博物館紀要』第20
号発行 新田由佳・博物館学芸係
宮古島市総合博物館 子ども博物
館第一回講座の紹介
新田由佳・博物館学芸係

宮古島市文化協会 第11回定期総 会開かれる	
宮古島市文化協会10周年記念式典 3名に功労賞、6人に感謝状贈ら れる	下地 和宏
浦底遺跡出土資料の里帰り	久貝 弥嗣
発掘調査速報	
宮国元島遺跡の発掘調査	久貝 春陽
忠導氏仲宗根家の発掘調査	久貝 弥嗣
平和と憲法を守る集い	
憲法壊す安倍政権を糾弾	仲宗根將二
◇215 2016.7 B5 8p	
7月定例会レジュメ 来問泰男著 『人頭税はなかった』一貢布の分 賦について(Part3)	下地 和宏
8月定例会レジュメ アラフ遺跡 の発掘調査から無土器期につい て考える	久貝 弥嗣
「人頭税」は「頭懸」のバリエーシ ョンー5・6月定例会を終えて	下地 和宏
慰霊の日・平和展「宮古における 日本軍の展開」の紹介	寺崎 香織
関連行事 「戦跡巡り」	寺崎 香織
関連講話 「新発見された戦争遺 跡の報告」	寺崎 香織
北分館 郷土の歴史と文化講座 第1回「戦争遺跡が伝えるもの」	久貝 弥嗣
西城中学校で平和学習会	
一西城学区の戦争遺跡を学ぶ	久貝 弥嗣
総合実業高校で平和学習ー1〜3年 生体育館で講演を聴く	下地 和宏
『綾道〜戦争遺跡編〜』刊行	久貝 春陽
『宮古島保良の石灰華段丘』『旧仲 宗根氏庭園』国指定・国登録天 然記念物へ答申	久貝 春陽
埋蔵文化財公開活用事業 第1回文 化講座「サンゴ島に生き、文化	

を築いた人々〜浦底遺跡から考
える新しい無土器文化像〜 久貝 弥嗣

寄贈図書紹介

◆遠野の昔話

菊池力松さんのむすめたちの語り
菊池ヤヨ・須知ナヨ・菊池榮子語り 丸田雅
子・田中浩子・小池ゆみ子・小林美佐子編
企画室・コア (〒963-0202 福島県郡山市柏
山町三番地 TEL024-961-7111) 2016年4月 A
5 383頁
長く遠野の昔話を語り継いでいる菊池家の三
人による87話を収録。うち13話は直接の語り
を付録CDとしても収録する。遠野地方略図
／はじめに／菊池力松一族の系図／菊池ヤヨ
さんの語り／須知ナヨさんの語り／菊池榮子
さんの語り／おわりに／昔話を聞いた記録／
『遠野の昔話 菊池力松さんのむすめたちの
語り』CD収録昔話 菊池ヤヨ (一把の藁
十六把に、雷さんのお嫁さん、せやみ、母の
目玉)、須知ナヨ (せやみ、豆腐とこんにゃく、
めがねとかみそり、貧乏な樵)、菊池榮子 (な
みなみの尻っぱり爺さま、せやみ、河童淵、
尻っぱり嫁ご、座敷童子)

◆最上川流域の後期旧石器文化の研究3

高倉山遺跡 東北文化資料叢書9
考古学資料
東北大学大学院文学研究科東北文化研究室
(〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1) 2016年
3月 A4 160頁
山形県最上郡舟形町に所在する高倉山遺跡第
1〜3次(2010〜2012年)発掘調査の研究報告。
調査の目的と方法／高倉山遺跡の概要(遺跡
の立地と自然環境、周辺の後期旧石器時代遺
跡と歴史的環境)／発掘調査の概要(調査の
経過、調査の方法)／発掘調査の成果(基本
層序、遺構と遺物)／出土遺物と分析(遺

物・礫の空間分布、ファブリック解析、石器
の形態的特徴と製作技術)／石器の機能(ナ
イフ形石器の機能、エンド・スクレイパーの
機能、彫刻刀形石器の機能、機能と形態の関
係)／自然科学的分析(火山灰分析、土壌学
的分析、放射性炭素年代測定(1)、放射性炭
素年代測定(2)、炭化種実同定)／考察(高倉
山遺跡の編年の位置づけ、遺跡内の空間構
造、南野遺跡との遺跡間接合の取り組み、新
庄盆地周辺における東山石器群のセトルメン
トパターン、韓半島の石刃石器群と高倉山遺
跡出土資料の比較)／総括／文献目録

◆六郷の民俗ー山形県米沢市六郷町西江股

神奈川大学歴史民俗調査報告19
佐野賢治編 神奈川大学大学院歴史民俗資料
学研究科 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角
橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2015年3月 A4
234頁
神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科によ
る山形県米沢市六郷町西江股における2014・
2015年度民俗調査実習の報告書。序(佐野賢
治)／調査の概要／村の概観(六郷町西江股
の自然・地理・社会的条件、六郷町の歴史的
変遷、調査こぼれ話 農家の長男 故郷を想
う 所沢市在住 遠藤寿郎、調査こぼれ話
六郷に来た！上杉治憲(鷹山)公)／村と家の
しくみ(集落の組織と共同労働、水利、青年
団、家族・親族、調査こぼれ話 しょうださ
ま)／生産・生業と労働(稲作、里と山のめ
ぐみ、キノコ栽培、調査こぼれ話 特別寄稿
古山泰彦氏「六十八歳の誕生日に」、交通交
易と諸職)／生活と文化ー衣・食・住(衣生
活、日常食とハレの食事、雪国の住まい、調
査こぼれ話 きゅうりの佃煮のレシピ)／
年中行事(年中行事一覧、農耕儀礼、子ども
と遊び)／人の一生(出産・育児、婚姻、葬
送と墓制)／信仰(氏神と稲荷信仰、高円寺
と仏教民俗、家の神、講、調査こぼれ話 六

郷町の裁縫塾、路傍の神)／地域社会と民俗
(大宮講と若妻学級、村の民俗と学校、戦争
と記録)／調査紀行(西江股余話、初めての
日本の村)／附(西江股共有文書目録、伝承
者名簿)／あとがき(佐野賢治)

◆歴史家になる方法

昭和モダンの歴史家に学ぶ
安食文雄著 (〒300-1424 茨城県稲敷市下太
田976-11) 随想舎 (〒320-0033 栃木県宇
都宮市本町10-3 T Sビル TEL028-616-6605)
2016年6月 B6 262頁 2000円＋税
数々の歴史家の足跡、歴史雑誌の歩みをと
して「大学にポストを得ることに執着せず、
在野で民衆の世界にしっかりと根をはって、
歴史学の営みを続けていく覚悟のある挑戦
的な若者に向けて」書かれた「歴史家になる方
法」論。はじめに／歴史家の現場(南木芳
太郎と『上方』の歴史家たち、自由退学運動
の土田杏村を追慕し顕彰する人々、学問の都
のレジスタンス)／歴史家談義(歴史家にな
る方法、歴史家における独立と在野性、歴史
家の蒐書と探書)／歴史学雑誌の世界(大学
とその周辺の歴史学雑誌、地方史学の歴史学
雑誌、異彩を放つ歴史学雑誌ー松本清張が発
行した『季刊 現代史』など)／民衆史学の旗
の下に(民衆史学百四十年の概観、著作目録
は学者の通信簿、反骨のアントレ歴史家をめ
ざせ)／還暦を迎えた著者の紹介／著者後記
／著者からのお願い

◆清瀬の年中行事と方言

清瀬市歴史・文化双書2
さいたま民俗文化研究所作成 (〒359-1146
埼玉県所沢市小手指南5-6-9 TEL4-2948-9681)
清瀬市郷土博物館刊 (〒204-0013 東京都清
瀬市上清戸2-6-41 TEL042-493-8585) 2016年3
月 A4 140頁
『うちおりー清瀬市及び周辺地域の自家製織
物』(2012年3月)、清瀬市歴史・文化双書1『清

瀬の民俗行事と民俗芸能』(2014年3月)につづき、清瀬市内に伝承する年中行事と方言についての調査報告書。

〔年中行事編〕 清瀬市の概観(市の成り立ち、暮らしの変容、年中行事)／正月行事(正月の準備、大正月、小正月、恵比須講)／春・夏の行事(次郎の朔日、節分、初午と八日節供、雛節供と寺院の花祭り、五月節供)／七夕と盆行事(七夕、盆行事)／秋・冬の行事(八朔・二百十日と風除け・クンチゼック、十五夜・十三夜、彼岸、オカマサマ、イノコ(亥の子)とトーカーヤ(十日夜)、オビトキ(帯解き)、恵比須講、大師講、師走八日、冬至)〔方言編〕 方言についての一考／清瀬の方言／アイ・アエ・イエの発音がエエとなった言葉

◆八王子市中央地域 旧八王子町の民俗

新八王子市史民俗調査報告書5

八王子市史編集専門部会民俗部会編 八王子市市史編さん室(〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 TEL042-666-1511) 2016年3月 A4 411+10頁

『新八王子市史』民俗編編さんの基礎資料収集のための民俗調査報告書の最終第5集。平成22年度から同27年度に実施した旧八王子町地区の民俗をまとめる。合併以前の市町村、八王子市全図、現在の旧八王子町／刊行にあたって(石森孝志)／「八王子」の成立と民俗―監修にあたって(小川直之)／旧八王子町の概要(旧八王子町の成立と行政区の変化、鉄道の開業と主要道、昭和前期の八王子、江戸時代の八王子横山十五宿と各宿町の概要)／社会生活(寺町二丁目町会、新町町会、明神町四丁目町会、横山町二丁目町会、元横山町第二町会、万町一丁目町会、八日町一・二丁目町会、台町三丁目町会、元本郷町一丁目町会、日吉町二丁目町会、千人町三・四丁目町会、小松町町会、本町三丁目町会／八王子宿の町並みと民家(町並みと屋敷の形態、町並

みの変遷、伝統的な民家)／マチのしきたりと仕事(鳶、建築業、鍛冶職、料亭、露天商、諸職)／衣食の商いと水をめぐる暮らし(衣食の商い、水をめぐる暮らし)／年中行事(商家の年中行事、職人の家の年中行事、料亭の年中行事)／人生儀礼(子どもの誕生と育児、結婚、葬式、供養、墓制)／寺社と民間信仰(鎮守社と氏子、神社の様相、旧八王子町の寺院、寺院の様相、諸神仏への信仰、講組織)／民俗芸能(木遣、祭囃子、子どもの遊び)／口承文芸(民間説話、民謡・わらべうた)／索引

◆八王子写真民俗誌 八王子市史叢書5

八王子市史編集専門部会民俗部会編 八王子市市史編さん室(〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 TEL042-666-1511) 2016年3月 A5 380頁

『新八王子市史』民俗編刊行に向けた調査と資料集積の成果をまとめる市史叢書 第5集。民俗部会で行った調査の際に収集した写真資料の中から、大正・昭和期の民俗事象など320の場面を写した写真を収録し、そこから読み取ることができる市民生活の具体相を紹介する。序 写真資料の活用と「写真民俗誌」の意図(小川直之)／集落と開発／道と鉄道／地域社会と組織／住まいと建築の祝い／食生活と衣服／農業と養蚕／山の仕事／町の仕事と製糸・機織り／人の一生／年中行事／信仰と祭り／八王子両社大祭等と八王子まつり／八幡八雲神社と多賀神社の各町の神輿と花車(『八王子市夏祭寫真帖』)

◆武相の女性・民権とキリスト教

武相の女性・民権とキリスト教研究会・町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2016年5月 B5 198頁

2011年12月に発足して以来、数カ月の一度の例会を中心として活動が続けている武相の女

性・民権とキリスト教研究会の研究報告集。刊行にあたって(江刺昭子)／『横浜毎日新聞』にみる女へのまなざし(江刺昭子)／コラム 『東京横浜毎日新聞』の女権伸張論―八八五年「論説」(金子幸子)／大島家の女性たち―自立と信仰の系譜(横澤清子)／コラム 遊学で培ったもの―森田美知子の蔵書から(山辺恵巳子)／町田の青年結社とキリスト教・女性一大成会・辛卯会・町田倶楽部(松崎稔)／コラム 平野藤と軍事援護活動(江刺昭子)／フェリス和英女学校で学んだ一女性―田中参とその「日記」より(金子幸子)／横浜における禁酒運動―『横浜禁酒会雑誌』を中心に(中積治子)／コラム 山上カクという交点(石居人也)／聖公会の相州伝道の跡を歩く(中村碩子)／史料紹介 その後の吉野りう(横澤清子)

◆まちがやって来た

一大正・昭和のまちづくり

大田区立郷土博物館編・刊(〒143-0025 東京都大田区南馬込5-11-13 TEL03-3777-1070) 2015年10月 A4 160頁

大田区立郷土博物館の特別展(2015年10月25日～12月13日)の図録。明治末から大正初期に約6万人だった人口が、昭和17年には61万人余にまで激増した大田区域。幕末・維新期の44か村から荏原郡下の大森・入新井・馬込・池上・東調布・蒲田・矢口・羽田・六郷の9町村、そして大森区・蒲田区へと25年ほどの間に急激な地域変化を遂げた大田区の歩みを、書類・地図・絵画・絵葉書・写真・図表・ジオラマ模型などさまざまな資料からたどり、ダイナミックに進んだ大田区の市街地化の謎を解き明かす。村からまちへ／市街地がやって来た／乗り物がやって来た／工場がやって来た／住宅がやって来た／学校がやって来た／流行・文化がやって来た／天災と人災もやって来た／絵筆のカメラマン／大田

区、地べたのファインダー―昨日の姿は今日に、今日の姿は明日へ／会期中催事一覧

◆地域と人びとを支える資料

―古文書からプランクトンまで

神奈川地域資料保全ネットワーク編 勉誠出版(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10-2 TEL03-5215-9021) 2016年5月 B6 312頁

序言(田中史生)／第一部 地域と人びとをささえる資料―文字資料から自然史資料まで 資料ネットの方向を問直す(多和田雅保)、人びとの「生存」を支える資料と歴史―三・一一後の東北でのフォーラムの経験から(大門正克)、『かまぐらの女性史』と地域資料―編さん作業十年の過程から(横松佐智子)、博物館自然史資料の重要性―文化財レスキューの経験から(山本真土)、討論 地域資料を考える／第二部 地域資料と対話する 海洋生物資料と地域社会(菊池知彦)、地域における学校史料(多和田真理子)、鈴木重雄への旅(松岡弘之)、気仙沼大島漁協資料の保全と漁協文庫の建設(窪田涼子)、千葉資料救済ネットの現状と課題(小田真裕)、新聞社と地域資料(平松晃一)、神奈川県立図書館の地域資料(水品左千子)、アーカイブズと地域社会―寒川文書館におけるレファレンスの事例から(高木秀彰)、地域でいきる「ネットワーク」をめざして―神奈川資料ネットの活動から(宇野淳子)、今を未来へ伝えるために―地域資料を守るとは?(林貴史)／あとがき(浅野充)

◆仰ぎ見る富士山

古橋懐古館編・刊(〒441-2513 愛知県稲武町タヒラ8 TEL05465-82-2100) 2015年7月 A4 23頁

古橋懐古館の平成36・27年度特別展(2013年7月1日～2016年3月30日)の図録。2013年6月に富士山が世界文化遺産に登録されたことを記

念して、三河の豪農・古橋家の六代暉兒、七代義真父子が収集した書画のうち、国学者、儒学者、文人が富士を描いたり詠んだものを紹介する。「仰ぎ見る富士山」刊行にあたってのご挨拶(古橋源六郎)／世界文化遺産登録記念展示「仰ぎ見る富士山」に寄せて(西海賢二)／作品(山岡鉄舟、勝海舟、三宅寄斎、田中訥言、屋代弘賢、谷文晁、楫取魚彦、山中信天翁、牧野虎雄、元田永孚、大平小洲、松平慶永、會澤正志斎、小室翠雲、大原重徳、足代弘訓、本居宣長、梅山)／作品リスト／山岡信遠地域の国学運動、庶民生活

◆稲武をこよなく愛した芳賀登と

古橋家古文書研究会の五十年

古橋懐古館編・刊(同上)2015年11月 A4 10頁

古橋懐古館の企画展(2015年11月17日～2016年3月30日)の図録。三信遠地域の国学運動、庶民生活を主な研究テーマとした故芳賀登の、生涯を通じての調査研究の基盤であった三河の豪農・古橋家との関わりを、さまざまな資料からたどる。ごあいさつ(西海賢二)／芳賀登略歴／芳賀家／芳賀登と古橋家／芳賀登と古橋家文書研究会／芳賀登と研究／古橋家文書研究会をめぐる人々

◆古橋家中興の祖 古橋源六郎暉兒

古橋懐古館編・刊(同上)2015年11月 A4 16頁

古橋懐古館平成27年度特別展(2015年11月17日～2016年3月30日)の図録。古橋家の六代当主であり、三河吉田の神主羽田野敬雄の紹介により平田門下生となった篤農家・古橋暉兒の生涯と功績を紹介する。ごあいさつ(西海賢二)／古橋暉兒略年表／古橋家と稲橋村(生い立ち)／家政改革と天保飢饉への救済(青年期)／幕末から明治政府へ(壮年期)／村とともに生きる(老年期)／暉兒、その晩年と終焉

◆収蔵資料調査報告書18 戦争関係資料2

宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260)2016年3月 B5 67頁

戦後70年を機に、宇治市平和都市推進協議会から寄託されている戦争遺品の史料紹介と、これらを活用した展覧会について報告するとともに、館蔵の戦争関係資料についてまとめる。収蔵資料調査報告書8(2006年3月)に続く戦争関係資料第2集。戦争関係資料の概要／資料目録 館蔵戦争関係資料／ある音楽青年の軍隊日記一紹介と翻刻(山北繁松軍隊日記)

◆黄檗山の十二ヶ月一萬福寺の年中行事と日次御供、その節令と節食

田中智誠著 黄檗宗鳳翔山正瑞禪寺／東林派下梅嶺禪師湖東三ヶ道場(〒529-1403 滋賀県東近江市五個荘日吉町935 TEL0748-48-5389)2016年5月 A5 158頁

黄檗宗第二十六代妙庵禪師(1745～1821)の「方丈内須知」月分行事、「知客寮須知」の記事をもとに、黄檗山萬福寺の年中行事についてまとめる。『煎茶道』『黄檗文華』掲載論文再録。萬福寺の年中行事／黄檗の歳時記／黄檗の祖庭一金粟山、その他(浙江省嘉興府海鹽(温湍)県金粟山廣慧禪寺について、清朝小説『浮生六記』について、「鉄梨木」について、外来語の発生学的起源と長崎の地、中国医学界における標語「精益求精」について)

◆風水説研究

寺本健三著 2016年5月 A5 269頁
博士(学術)、一級建築士でもある著者が、史迹美術同好会の機関誌『史迹と美術』にこれまで発表した風水説に関する論考と、さまざまな風水書の原典和訳を収録する。序一寺本さんの地道な風水研究に寄せて(渡邊欣雄)／はじめに一風水説と妖怪学／Ⅰ 論考 第一章 風水説の成立過程、第二章 四神相応の系譜、図版出典・注／Ⅱ 漢籍和訳 第一章『古本葬書』、第二章『青鳥先生葬経』、第三

章『黄帝宅経』、第四章『营造宅経』、第五章 敦煌文書『司馬頭陀地脉訣(上・下)』

◆穴禾郡(全)一語釈・注釈

妙見山麓遺跡調査会紀要21

神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区の場合 294 TEL0795-35-0555)2016年6月 A4 19頁
妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨風土記』の記録。穴禾郡号／比治里／高家里／柏野里／穴師里／石作里／雲箇里／御方里／伊和村／古代播磨における穴禾郡の役割りについて(補論)

◆西宮町人の生活と文化

江戸時代の日記を読み解く

西宮市立郷土資料館第32回特別展示

西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298)2016年7月 B5 16頁

西宮市立郷土資料館第32回特別展示(平成28年7月16日～8月28日)「西宮町人の生活と文化一江戸時代の日記を読み解く一」の展示案内図録。喜多家文書『雑事家記』『慶応元年日記』をはじめ、江戸時代の西宮町の諸相を綴ったさまざまな日記を紹介する。は江戸時代の西宮町／西宮町人の生活／西宮神社と西宮町人／幕末の騒乱と西宮町人／西宮町人の文化活動

◆西宮歴史調査団年報 2014年度版

西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298)2016年2月 A4 41頁
西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成26年度活動記録。平成26年度の経過／石造物の調査／橋梁の調査／古文書の調査／活動報告会／その他の事業／調査を終えて／付載「西宮歴史調査団通信」2014.4月号～2015.3月号

◆トクシマ恐竜展

辻野泰之編集(〒770-8070 徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館 TEL088-668-3636)トクシマ恐竜展実行委員会刊 2016年7月 A4 74頁
徳島県立博物館にて開催の企画展「トクシマ恐竜展」(2016年7月15日～9月19日)の展示図録。2006年度以来、福井県立恐竜博物館と進めている連携博物館事業10周年を記念して、両館が所有する100点以上の恐竜資料を一堂に公開する。プロローグ 恐竜とは／恐竜や哺乳類が誕生した時代「三疊紀」／巨大恐竜の繁栄の時代「ジュラ紀」／3 生物多様化の時代「白亜紀」／トクシマ周辺の恐竜時代／エピローグ 恐竜時代の終わり

◆愛媛県内の鎌倉時代の主要石造塔

長井敷秋著 愛媛考古学研究所(〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田138 TEL089-956-0496)2015年9月 B5 138頁(図版20頁)
国の重要文化財として鎌倉・南北朝時代の五輪塔8塔、宝篋印塔13塔、宝塔2塔が指定され、数多くの石造塔が現存している愛媛県内の主な石造塔155塔を、図版・写真とともに詳しく解説する。はじめに／五輪塔 中期の五輪塔、後期の五輪塔／層塔 中期の層塔、後期の層塔／宝塔(多宝塔) 凝灰岩質岩石による中期の宝塔、花崗岩による後期の宝塔／宝篋印塔／南北朝時代の紀年銘の残る宝篋印塔／おわりに／追録／指定文化財一覧／愛媛県内の鎌倉時代の主要石造塔写真

◆早尾のスッキョン行事 平成27年度 変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業

さいたま民俗文化研究所作成(〒359-1146 埼玉県所沢市小手指南5-6-9 TEL4-2948-9681)文化庁文化財部伝統文化課刊(〒100-8559 東京都千代田区霞が関3-2-2)2016年3月 A4 187頁
昭和57年度に記録作成等の措置を講ずべき無

形民俗文化財に選択され、現在は熊本県氷川町の消防団への加入儀礼として行われている「早尾のスッキョン行事」の調査記録。

氷川町の概観と早尾に暮らす人々（氷川町の概観、早尾地区の概観、早尾の祭りと民俗行事・民俗芸能、集落のお堂と神社の祭り）／社会生活（早尾の自治会、早尾の青年団、早尾の消防団、一人星とムラ入り習俗）／早尾のスッキョン行事の概要と変遷（早尾のスッキョン行事の概要、早尾のスッキョン行事の変遷、神主役と経験者の伝承）／早尾のスッキョン行事（早尾のスッキョン行事に用いる用具、早尾のスッキョン行事の準備、早尾のスッキョン行事の現状）／「早尾のスッキョン行事」の継承について

◆奄美の人・くらし・文化

ーフィールドワークの実践と継続
植松明石監修 民俗文化研究所奄美班 論創社（〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23 北井ビル TEL03-3264-5254）2016年6月B5 331頁 4200円
跡見学園女子大学民俗文化研究調査会による1977年から1985年までの9年間にわたる奄美11集落のフィールドワークの資料と、その後1998年から継続して行われている調査の成果

をまとめる。刊行にいたる経緯（浅野博美・川北千香子・末岡三穂子・福岡直子）／「奄美」とは（歴史的・地理的景観）／はじめての奄美（未知の世界、訪ねた集落、集落滞在記）／人とくらし（働く、着る・食べる・住む、つきあい、楽しむ、祈る・守る）／歳月の贈りもの（変わる奄美、変わらない奄美）／歳月をこえて（今に伝えて、明日に向けて）／おわりに シマの方々に感謝をこめて／索引／コラム 奄美群島 島々の位置と特色、稲作と儀礼、「奄美」とは？、川のみぐみーカニとエビ、私的奄美の七不思議、奄美の東西南北、奄美市の誕生、歌声に導かれて、奄美のお葬式、シマウタは島を越えて、厨子甕、きれいにしてあげたから天国にありがたない、ソテツと遊ぶ、奄美大島の日本復帰運動、女子の髪型

◆お詫びと訂正

前号 130掲載の「皇學館大学研究開発推進センター紀要」中の論文名(37頁左10行)に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤「古代における内外涼宮の祭祀構造」

正「古代における内外両宮の祭祀構造」

◆後記

2014年8月の広島土砂災害はまだ記憶に新しいところだ。芸備地方は災害の少ない地域との考えが一般に受け入れられているという。その地にしてあれだけの災害である。むしろ、その地だからこそ開発が進み、一方で災害意識が希薄という側面はなかっただろうか。芸備地方史研究会『芸備地方史研究』301・302（本誌 p.46-47）の「特集 芸備の災害史」には学ぶところが多かった。特集にあたっての文責者 平下義記氏は、歴史を翻って見れば、地震、旱害、水害など多くの被災経験は明白で、ここに災害史の観点から芸備地方を捉えることの重要性が示されていると指摘する。同会は災害翌年年度にシンポジウム「芸備の災害史」を企画、「多様な個性を持った地域の存在に配慮し、それに根ざした分析」をする視点から、寛政8年（1796）太田川流域大洪水、明治40年（1907）安芸郡坂町土砂災害、大正8年（1919）芦田川洪水をフィールドに、災害の歴史的、地域の特徴を浮き彫りにした。地方史研究の在り方を考える上からも、また、防災の観点からも非常に意義のあるシンポジウムであったと思う。（飯澤）

地方史情報 131 2016年(平成28年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757